藝州 嚴島圖會

寶物之部 六



廟守駕驚所壞擁
髹札闡神庫佑絶境
秘藏千古物海龍所
呵護相戒愼鑰鑰世守
吾所知當緣從覽閲悉
經平摸寫并蘭圖字楷

U. S. NATIONAL MUSEUM
No. 3640. 10 vols. in case.

栗晶軸金題箋銅函
巻弄八標贉錯繪圖
隱謎難辭詰驕汰詢兒
也傍媚憑神佛威權請
雲水衣跡存墨筆
乾坤養蒼和高帝絅衣蜀

錄徽託貽庫狼家藝
骨鈍鼈屋獨釣小松
公輕甲遺泣鐵應擺
侍医つ兒回擅浦蟻拙
代邊遷移芳臭騈陳
列仁山納鐀刀桐蜀鑄

其外怪屋皇治錦
捲決犯闘阿隆野屋
錦絲縚綴黒札何如賊
刃刺客情防身器矣
見劍雌雄鐔具鞘鞢
鞍之銘之謂嶽緒三玉

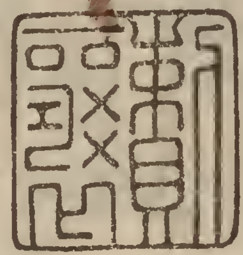
胃畫一江公覚兒賊時
武藝錬鋭豈戢與岸
神形右昔之如前日最
後一長刀敷于爲講武
者一揮捌情雖再揮
抑遅勸鸞看轅之扇

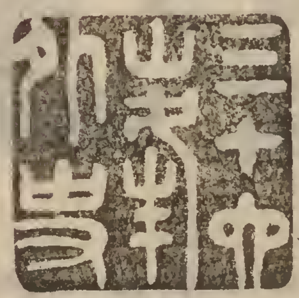
戸黙樓呑日没人事
摩雲樓神山長截嶭
大息誰踏邪舟縁岸
攀回眸望古夕陽笙
尊山

伶伯子粹翁寄案觀

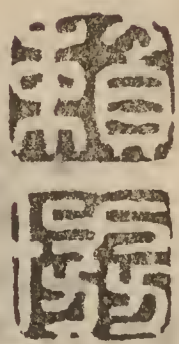
神戸訪藏山歸飲賦廿
八韻以紀是日之事

頼襄



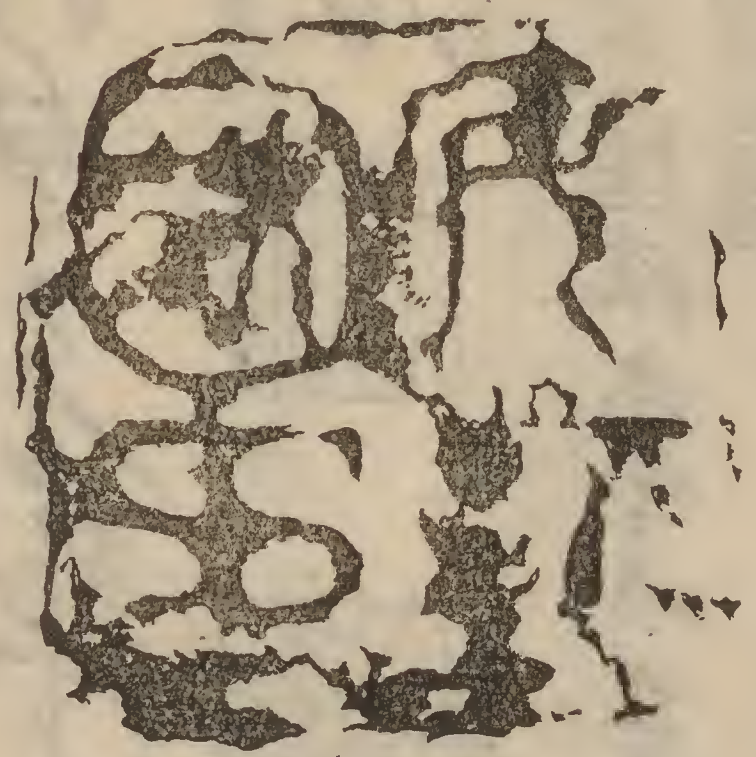


右先人手書協盤手謹臨為宮崎生囑





文治五年觧所押
嚴島御社印



天喜元年觧所押
安藝國印

嚴島寶物圖會

凡例

一當社ノ挍倉ハ草創ヨリ以來兵燹ノ災害ヲ遁レテ神寶棟ニ充レドモ楽器經巻刀劔甲冑ナドノ外有用ノ具ニアラザルモノヲバヲサ〳〵省キテ収メス

一挍倉ノ開閉容易カラズコレニヨリテ毎年ノ七月虫拂ノ節ニ閲スルニシタガヒテ収入セシカバ世次年代ソノ序ヲタヽスコト能ハズ

一偽贋ニ渉リテ疑フヘキコトアル物トイヘドモ或ハ社傳ノ由來タヾシク或ハ證拠ノ指摘ナキカヽルタグヒマヽ多シイマヽコト〳〵ク収テ以テ博覧ノ資トナセリ古史實録ニカナハヌコトアリトモミタリニコレヲ嘲ルヘカラズ

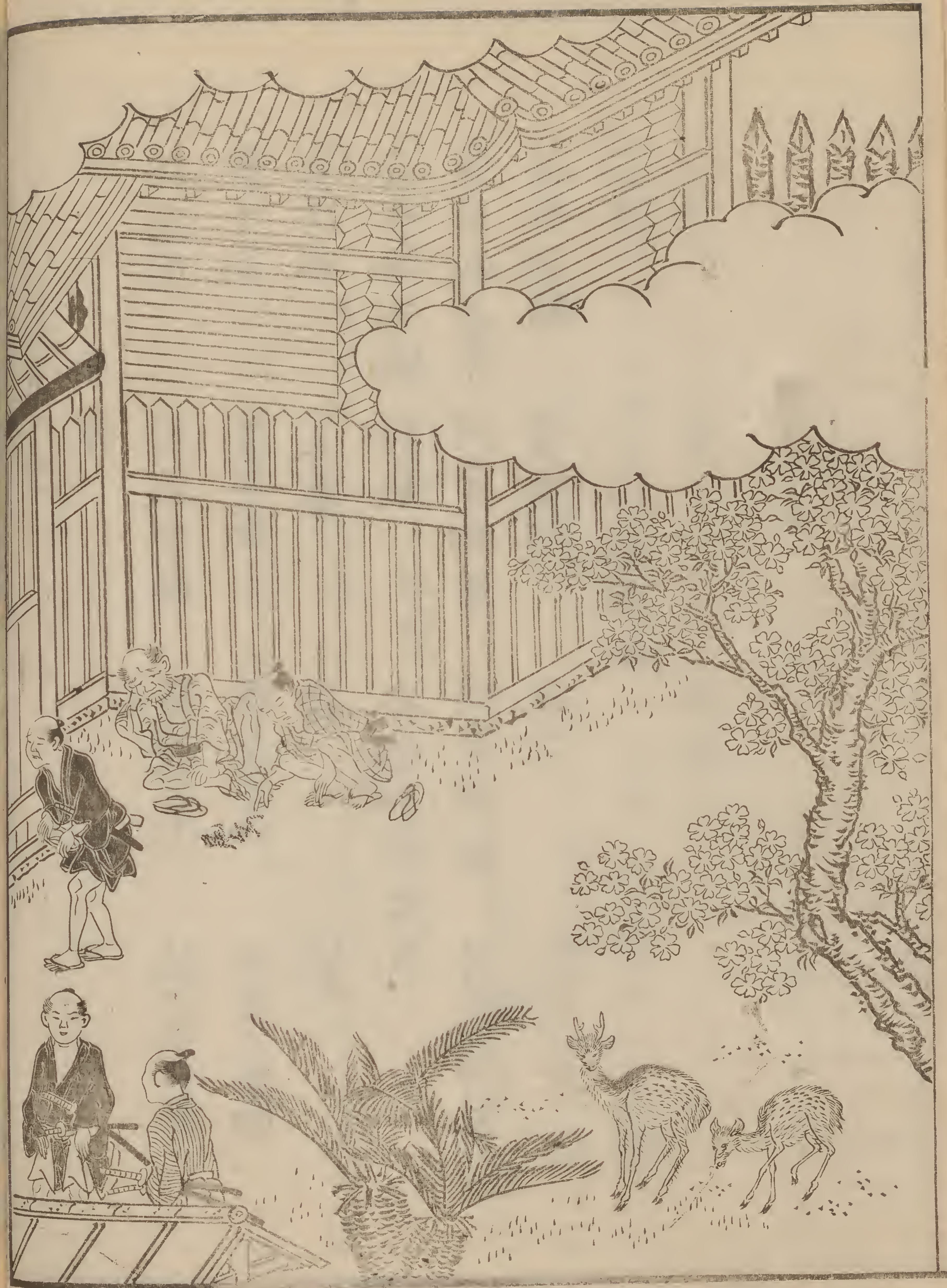
一物ノ名目俗ニシタガヒテ雅ナラザルコト多シタトヘハ經巻ノ褾褫ヲ或ハ袖トモ或ハ表紙トモカケルガ如キミナコレ寫手ノ便ニシタガヒテノワザナリ餘モ准ヘテシルヘシ

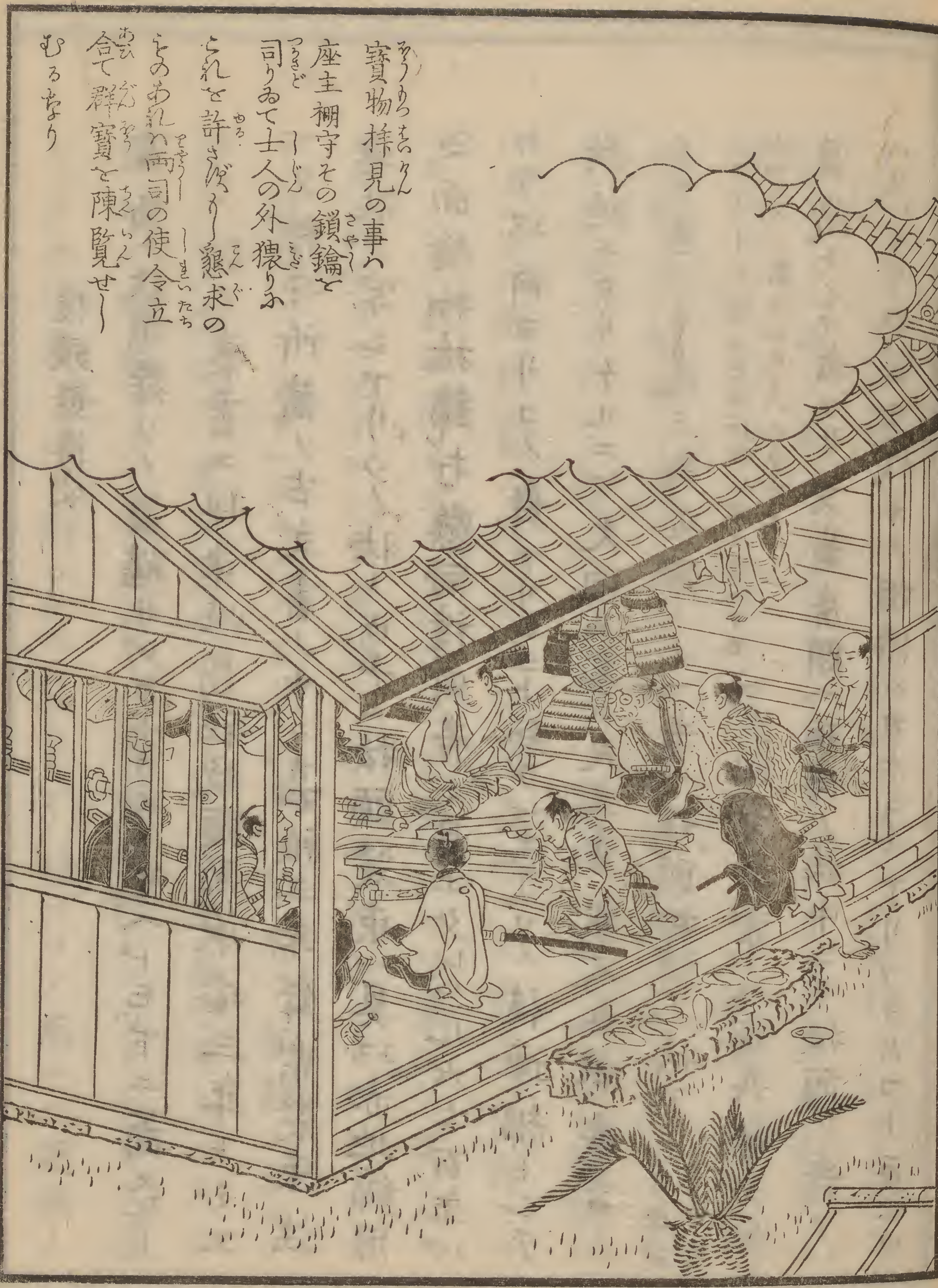
一弘法大師真蹟ノ三摩耶經ハ海内無比ノモノナレドモコレヲ平家ノ寫經トオナジクタヾ両三行ノミ摸寫シ出セルハ紙葉ノイタツラニツフヲイトヒテナリ後日別ニ全文ヲ刋行シ臨池家ノ観覧ニソナヘントス

一画ハミナ姓名印章ヲ載セテソノ人ヲアラハセリ姓名印章ナキハヒトリ俊峯齋守嗣ノ筆ノミナリ

嚴島寶物圖會卷之壹

目録

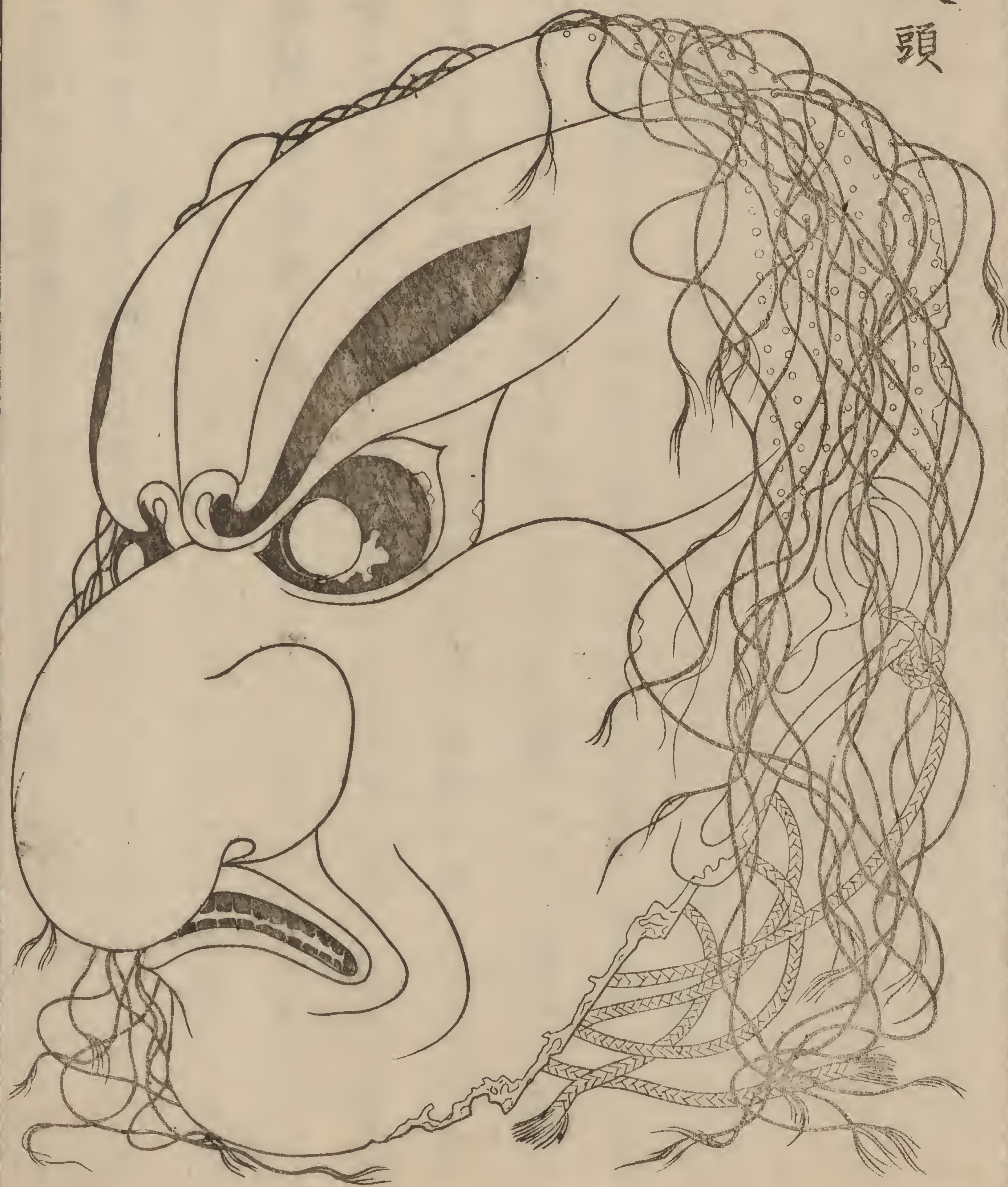



寶物拝見の事ハ
座主棚守その鎖鑰を
司りゐて士人の外猥りに
これを許さゞりし懇求の
ことあれハ両司の使令立
合て群寶を陳覧せし
むるなり

抜頭舞傳來

當島ノ抜頭舞ソノ濫觴サダカナラズトイヘドモ下ニ啚スルトコロノ面ノ裏書ニ伊津岐島社抜頭面承安三年トミエマタ棚守所藏ノ古文書ノ中ニ嘉禎三年舞樂装束注進狀ノ写シアリソノ狀ノウチニ抜頭装束一具以赤地錦用之面縫物袍錦打懸同袴同帯ト見エタレバ凡六七百年バカリ以前ヨリコノ舞アリシコト知ラレタリソノ後連綿トシテ断絶ナカリケルニヤ文明三年ニ天王寺楽人太秦廣吉トイフ者ヨリ彦三郎安種トイフ者ヘ抜頭相傳ノ狀アリ（コノ安種トイフ者ノコトイマ詳ラカニ知ラレズトイヘトモ當島ノ者ナルコトハウタガヒナシ）マタ同寺ノ楽人岡兵部大輔昌歳トイフ者ヨリ戈菊房頭ヘ相傳ノ狀中ニモ抜頭ノ舞アレハソレヨリ以前モ代々ノ相傳ハカナラズアリツラムコト更ニウタガヒナシ房頭ヨリ以來ハ譜面ヲ用ヒズ昕作ヲ以テソノ子孫ニヨシヘ今ノ棚守元貞ニイタリテ九代オヨソ三百余年ノ間年ゴトノ正月五日禁裡御祈禱ノ舞楽ニコノ抜頭ヲ用ヒテ退轉ナク歴然ト傳ヘ來レリシカルニイツノホトニカアリケン天王寺ニハカヘリテコノ楽断絶セシカバ寛政八年ニムカシ房頭ニツタヘケル岡昌歳ノ後裔伊豫守昌禂ニ元貞ヨリ復傳セリソレニツキテ故障イデキテ元貞ヲ京都ヘメサレ楽所ノ者ニモアラズ譜面ヲモモタズシテ復傳セシハイカナル故アリテノコトゾト訊問アラセラレシニ六七百年以來ノ故實ヲ記録シ社人ノ身ナガラ楽役ヲ帯テ譜代ノ者ナルヨシ委曲ニ申上シカバ朝廷ノ御疑モトケテ社祭ノ舞楽退轉ナクツトムヘキヨシカシコクモ傳奏ヲ以テ御ワタサレケリソノ時ニコノ面ヲハ證拠ノ

抜頭



面朱漆眼眉歯ミナ黒漆髪紺麻ノヨリ糸面竪一尺ヨコ耳ノウヘ七寸一分

伊津伎湯社抜頭面永安三年
一勝寺奉仕師行明
沙汰

面ノ裏黒ヌリ赤漆ニテウラ書アリ

兼安ノ年号磨滅シテ永安ノ如ク見ユシカレドモ下ニ兼ノ字炳焉タルモノアリカレヲ以テコレヲ知ベシ

抜頭面
叡覧被為深被遊下候
古物殊勝之条之段
思召候段大慶御同前之事

十月

タメニ叡覧ニソナヘシトソサレバ當島ニオイテ抜頭舞ノ傳來ハイトフルキコトニテヤンゴトナキ神事ナリカシ

還城楽

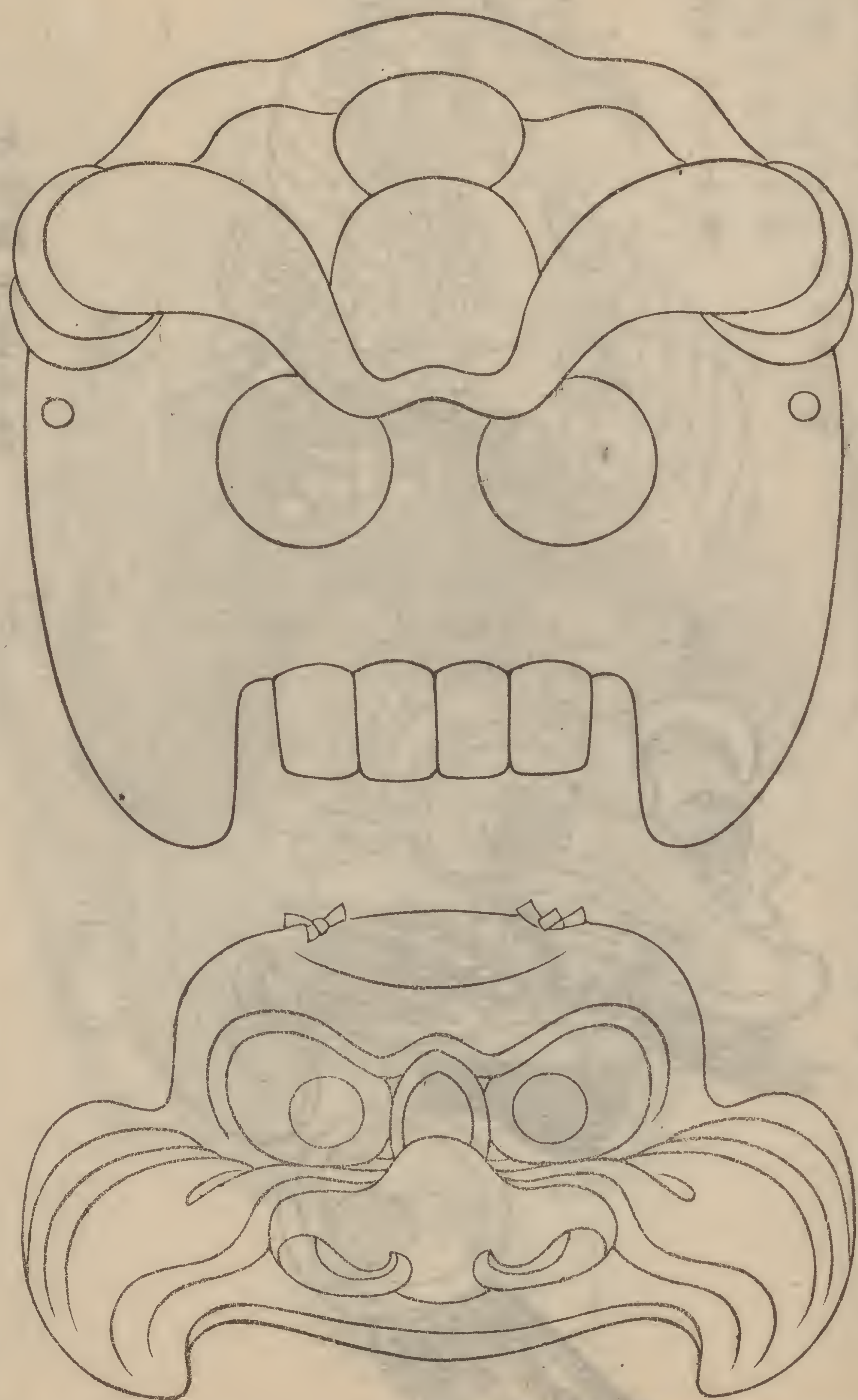
面朱漆古色
ニシテ少シクロ
ミアリ眼歯ミ
ナ黒ツリ頤外
朱ウチ黒漆
眼鼻華ヲ以テ
頭ヨリツリタリ
竪長歯ヨリ頭
ニ至テ六寸ヨコ
耳ノ上六寸七分
頤厚サ一寸二
分五リ

面ノウラ
クロ塗赤
漆ヲ以テ
裏書アリ



厳島社還城楽面　政所御寄進
承安二年八月日佛師沙門

同裏ノ圖



搨摹勝直本

陵王

面金箔ヲオケリ髮空青眼中金鼻ノウチ朱歯黒ヌリ髭眉トモニ馬尾釣顋外金中黒



龍眼中白マフチ朱
髮朱毛ホリツケ
ロク青ノ毛ガキアリツチノ中
朱ウハ顋金ウロコ朱ノカキワケ 緑青彩リ 鰭彫物朱緑青ノカキワケ
タテ龍ノ頭毛ヨリ上腮ノ下歯ノトコロマデ一尺三寸二分 横耳ノトコロニテ五寸八分強

裏黒ヌリ 龍ノウラ
朱グン青ロク青胡
粉鱗カキワケ



竪二寸三分強

納蘓利

空言古色ニシテ詳ナラズ眼ノフチ朱唇朱鼻ノ中朱ウラクロ塗裏書赤漆ヲ以テカケリ

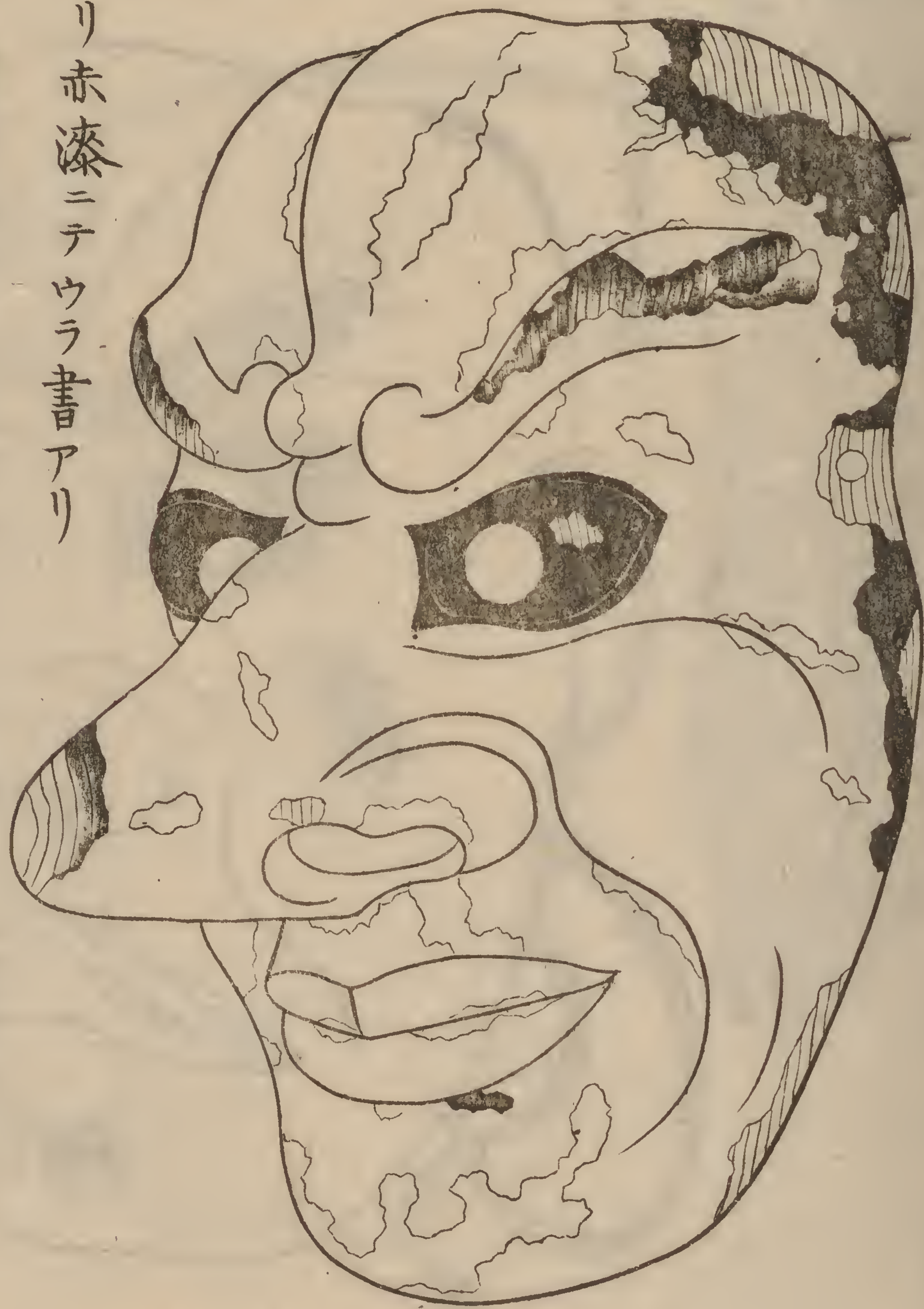


頭ヨリ頤マデ七寸六分強
ヨコ耳ノトコロニテ五寸四分

散手

面朱眼中クロ竪長七寸八分ヨコ紐付ニテ五寸二分

裏クロヌリ赤漆ニテウラ書アリ

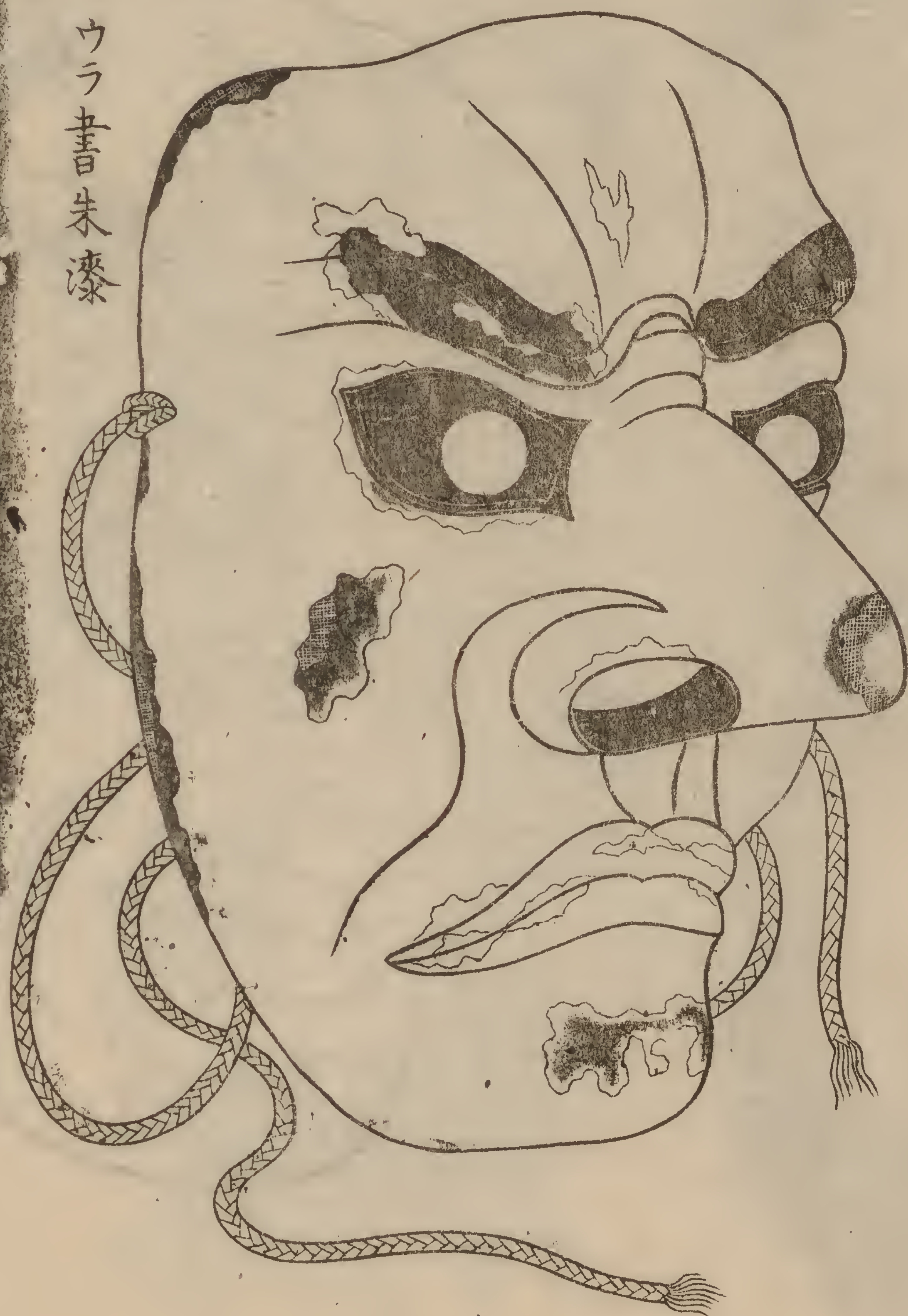


貴徳

面胡粉
眼中ク
口唇朱
古色詳ナラズ
竪七寸三分ヨコ
紐付五寸四分

裏黒ヌリウラ書朱漆

伊津伎嶋社 貴徳一面
承安三年八月

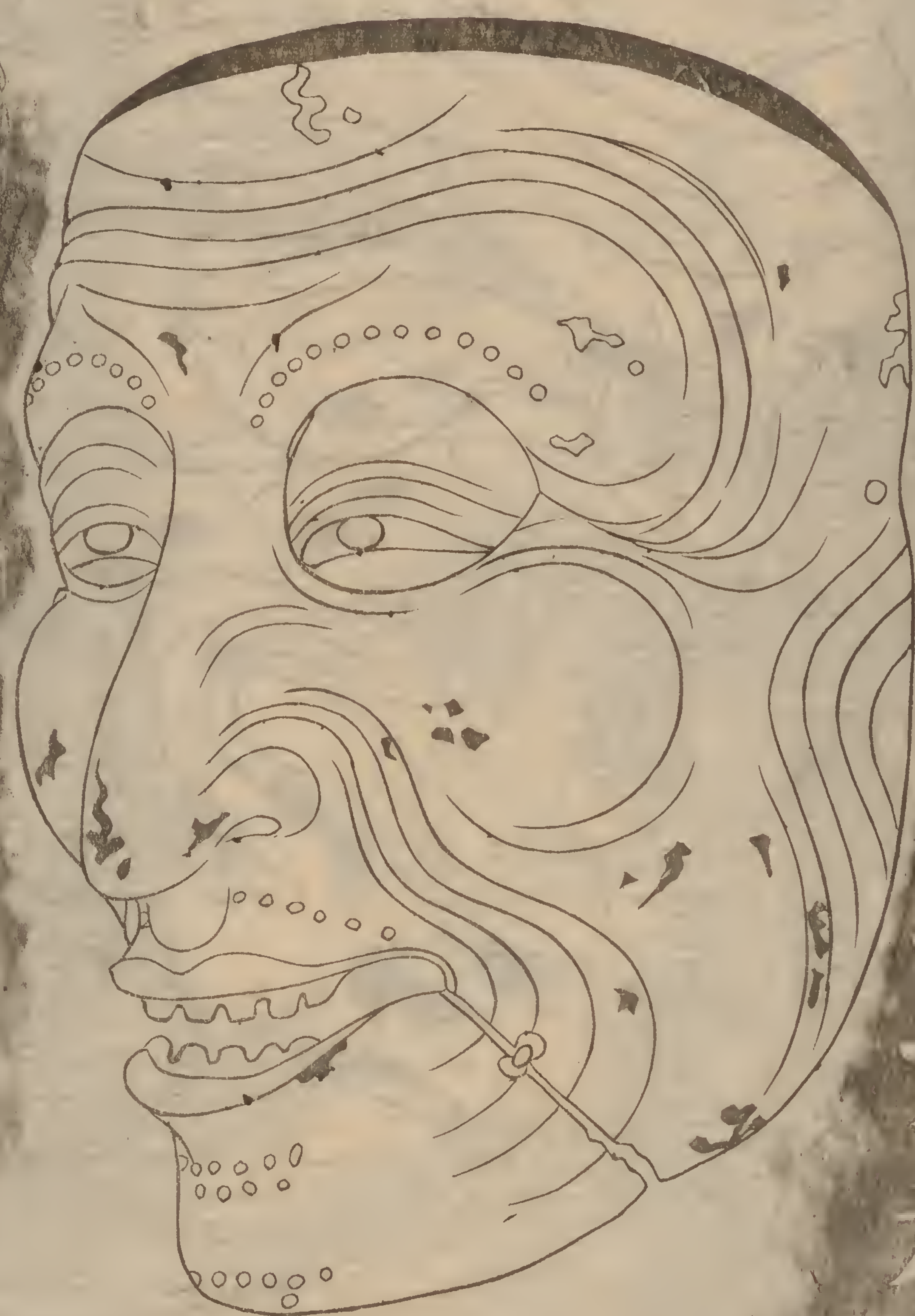


採桒老

面白肉
雲母ノ艶ヲトル
眼中白
唇朱甚タ
アラク塗タ
リ竪長七
寸ヨコ五寸

ウラ黒ヌリ赤
漆ヲ以テ裏ガ
キアリ

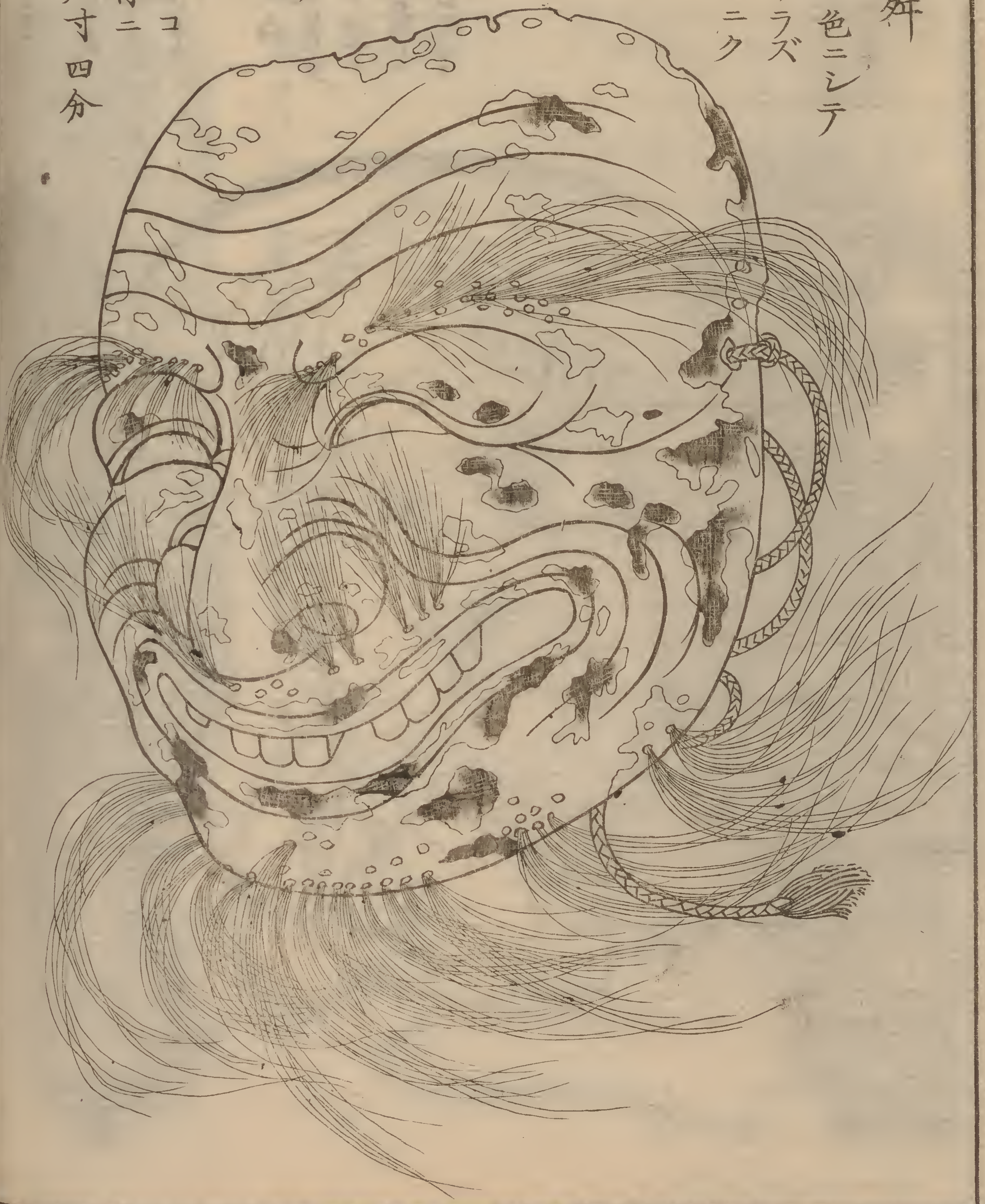
伊都伎嶋社 採桒老面



建長元年九月十四日
[illegible]資 于時右近將監 [illegible]之

二ノ舞

面古色ニシテ詳ナラズ毛白ニクロヲヲリ〱交セタリ竪八寸六分ヨコ紐付ニテ六寸四分



二ノ舞ノ面裏タメ塗赤漆ヲ以テウラ書アリ

嚴嶋社　二舞面　承安三年八月日
盛國朝臣調進

下ニ圖シタル面ノウラ書

嚴嶋社　二舞面　承安三年八月日
盛國朝臣調進

二ノ舞

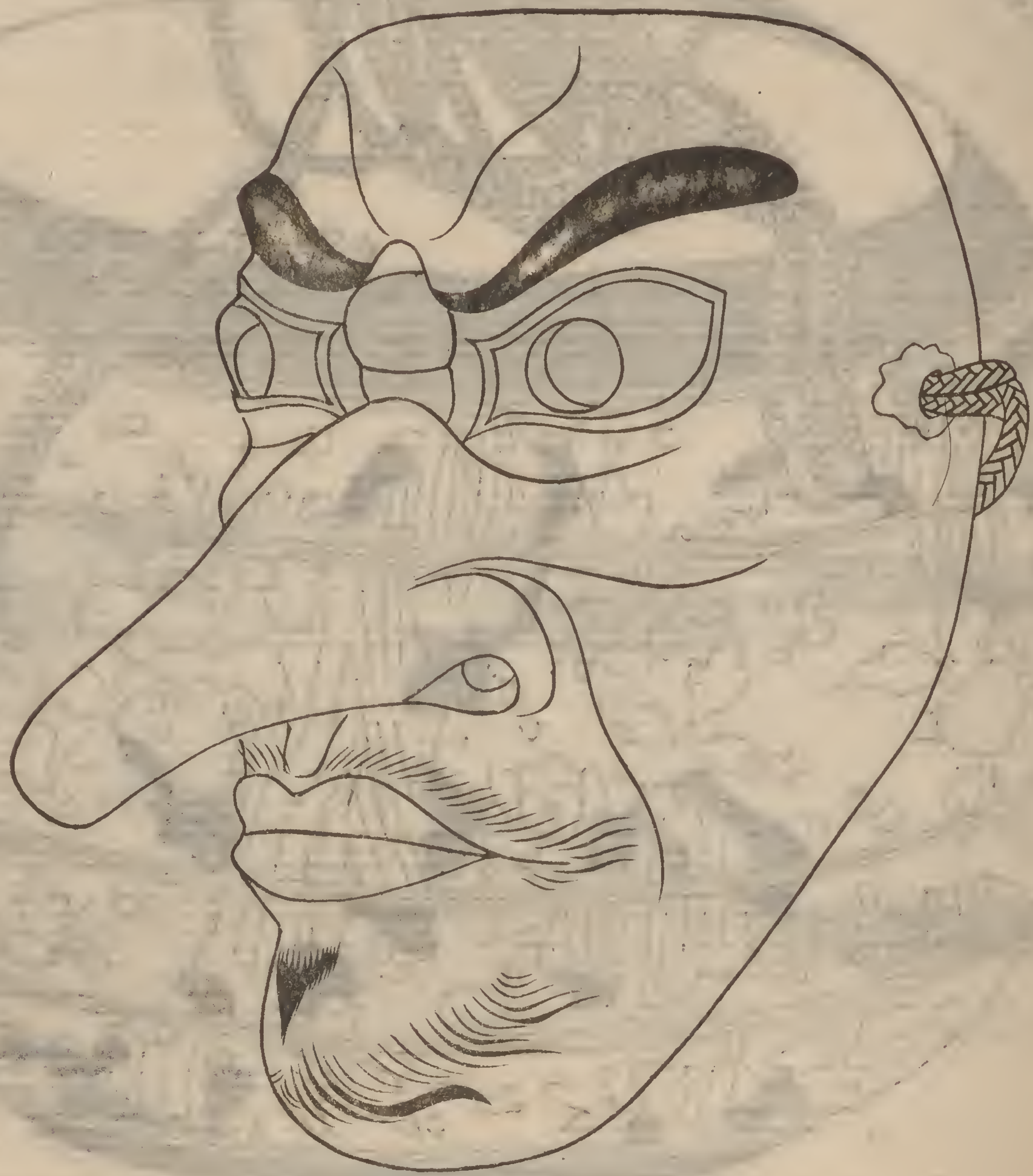
面古色ニシテ詳ナラズ竪一尺ヨコ紉付ニテ七寸



面赤漆眼黒漆ノゴトシ

竪七寸ヨコ紉付ニテ五寸一分

裏クロヌリ



此面四ツアリ當社ニテハ今胡徳樂ニ用レ𪜈ソノ實ハ未詳

奚婁

枹ノアリ五寸五分

枹上下ミナ竹ナリ

胴中ノ廻リ二尺三寸九分
高サ六寸五分皮亘リ
四寸五分強一方
ヤブレアリ
緒ムラサキ



鼗

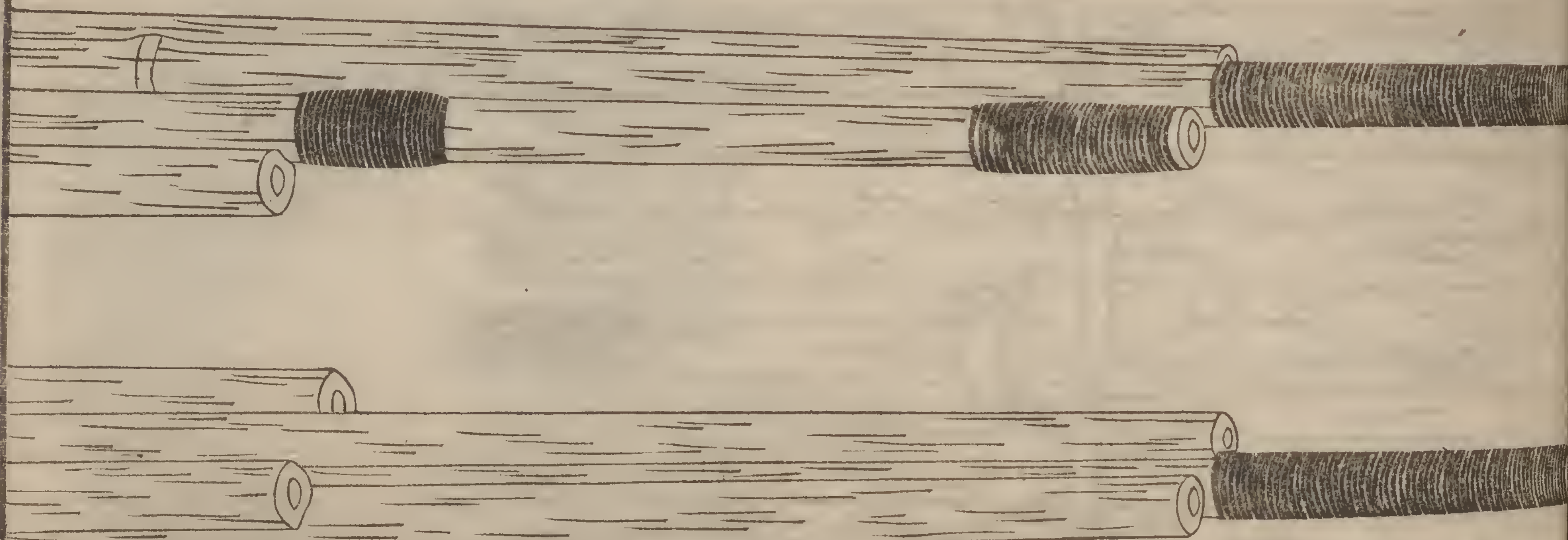
胴金地極彩色
皮金地古色ニシテ詳ナラズ

一寸六分

金

スベテ長サ一尺二寸九分

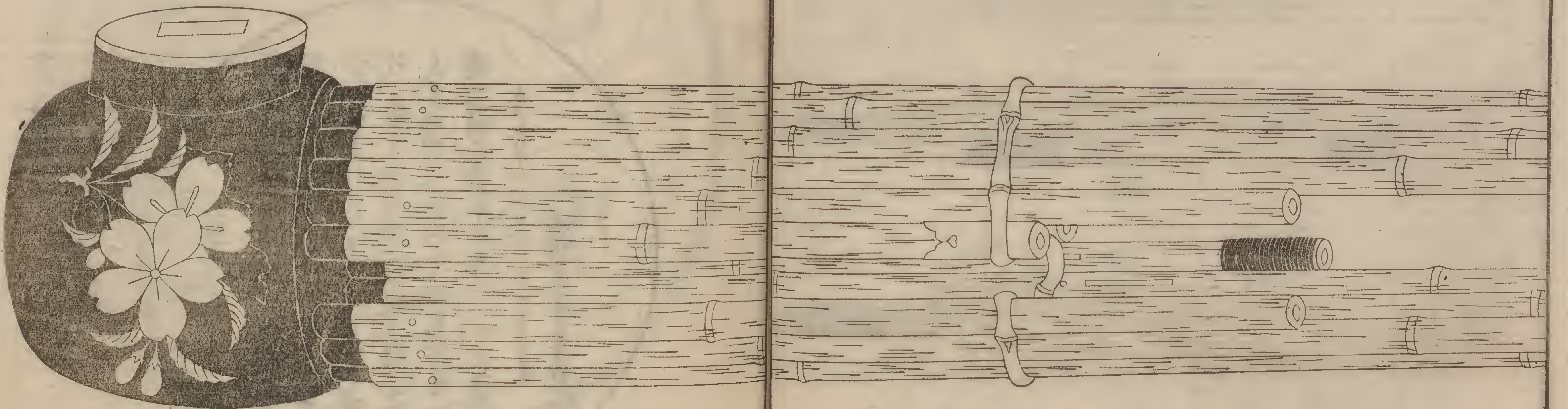




高倉天皇御笙

笙大サ畵ノ如シ
天皇ノ愛翫シタマヘリモノ
ニテ小櫻トイフ名物ナリ
治承四年御幸ノ時神庫
ニ藏メタマヘリトゾ

匏黒漆サクラノ画彙
金粉花銀ノウスガ子
簧銀



佐世伊豆守正勝寄附圓鏡

蓋クロヌリ文字金箔裏ガキオナジ

嚴嶋

古鏡未磨時其光粲然奪目何况磨後明
神明之明德一點也無消埃本来面目露堂々
此大圓鑑者於朝鮮國之落城夢中求之献之
於　嚴島大明神醒後恍忽而真得之不亦奇哉
其翌與明兵合戰遂折其衝夢之所感　神之所
護也歸朝之後以奉掛之於　神前祝遠大云
慶長第二歲々次丁酉春三月吉旦
源朝臣佐世伊豆守正勝

梵字ノ大サ圖ノ如シ

地文圖ノゴトシ



鏡ノウラノ圖カクノ如シ亘リ一尺二寸三歩

青磁之塔

タカサ一尺一寸上ノ亘リ四寸一歩下ノ亘リ四寸五歩



大願寺什物鐘

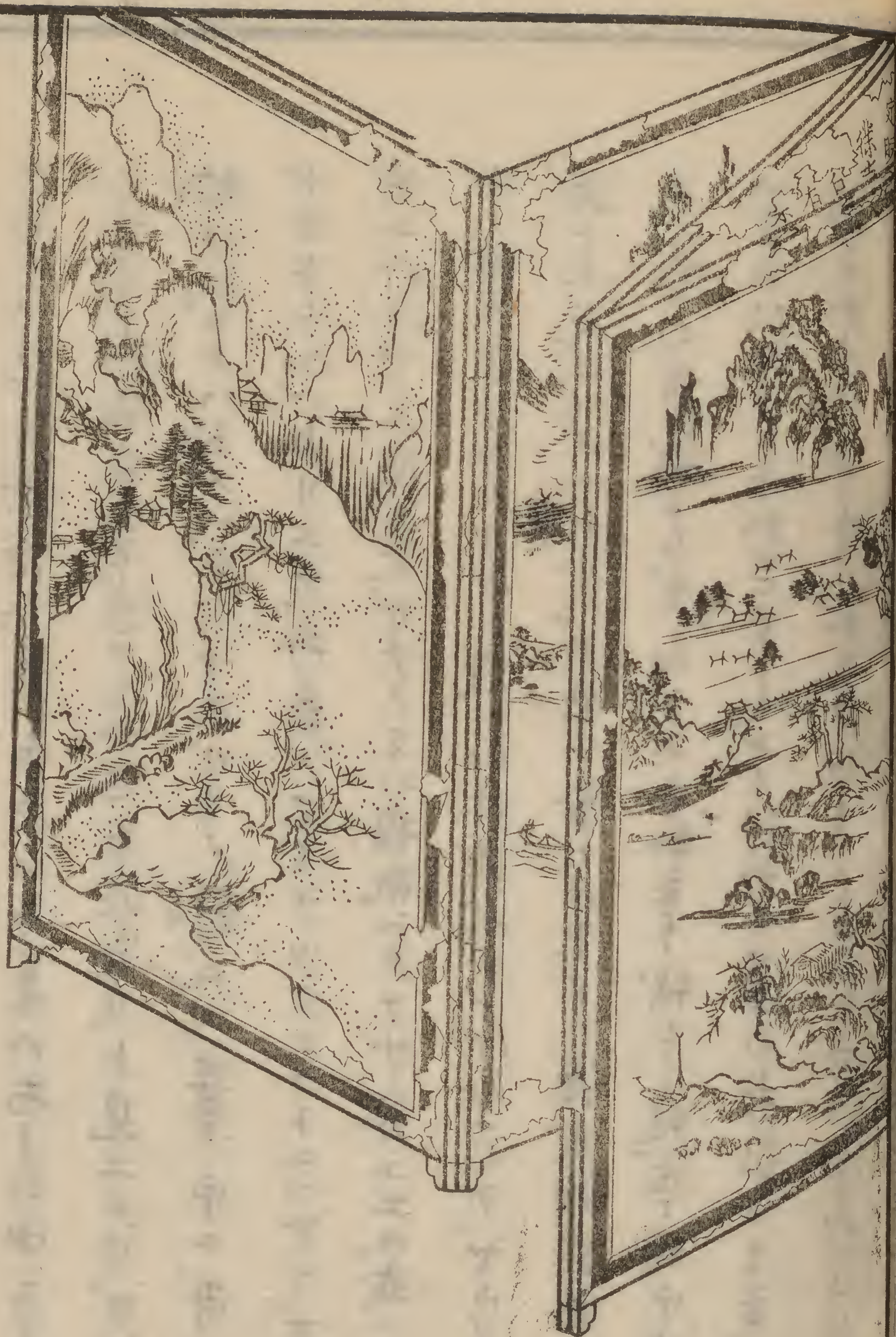
竪一尺二寸八歩亘リ七寸三歩縁厚サ七歩五リと



大願寺什物八景野立屛風

八抜折高サ三尺四寸六歩幅一尺八寸七歩厚サ四歩足七歩
墨画ノ山水白高麗𢄂ニカケリ鰈番藍麻布ヲキセタリ木ロモスベテ同ジ背両
端ノ折ハ藍涂ノ高ライ𢄂文蓮花カラ草畐ノ如シスベテハ書キタ畐ノ如シ表ヘリ
小ヘリ赤大縁ア平涂トモニ高ライ𢄂但シ小ヘリ大ヘリノアハロ白𢄂細金





コハ大願寺尊海師大藏經ヲ得ニカタメ渡韓ノ時請得テ携ヘ
歸ラレシ所ニシテ同師彼地ニテノ日記ヲ其裏ニシルシタリ八景野立
屛風トイフ名義詳ナラス

葦手考

下ニ載スルトコロノ檜扇ノ画ヲ葦手書ト称ズ。コノ葦手トイフモノハ。花鳥餘情ニ。葦手のいろ紙はあしの中に文字かゝくなり。水石などにもかきなしたるなり。ト見エタリ。コレニヨリテ按フニ。ソノハジメハタヾナホザリノ慰ビニ。葦ノ中ニ哥ノ文字ナドカキケルバカリニテ。丹青ノエミヲツクスコトニハアラザリツラメト。世ニ行ハル、ニ従ヒテ。サテノミハ握翫ニタラザルガユヱニ。或ハ水石鳥ナドノ體ニ字ヲツクリナシ。或ハ山林草木ナドヲモツヘテ。ヤウヽセコトノ画トモ見ユベクナセルハ。自然ノ勢ヒニテ。ソハ源氏物語梅かえノ巻ニ。あしでの草紙どもぞ心ゝにはかなうをかしき。宰相中将のは水のいきほひゆたかにかきなし。そゝけたる葦のおひざまなど。難波の浦にかよひて。こなたかなたいきまじりていたうすみたる所あり。またいといかめしうひきかへて。文字やう石などのたゝずまひ。このみかきたまへるひらもあめり。ゑも於よばず。これはいとまいりぬべきものゝかなと興じゑでたまふ。トアルニテ知レタリ。水のいきほひゆたかに。又葦のおひざま。又文字やう石など乃たゝずまひトアルヲ以テ。水石草ナドノカタハラニ。字ヲカキクハヘタルヲ知ベシ。サハアレドモ。コレ更ニ六法ノ規ヲタダシテカクワザニモアラズ。サレバコハナニガシノ公達。クレガシノ姫君ナドノ。画ノ手習ニシタヽフコトニテ。葦手トシモイフハ。コノ手習。葦ヨリハシムルユヱナリ。葦ヲハジメニナラヒソムルハ。文字ノ手習ヲ難波津トイフニヨセテ。画ノカタヲバソノ難波ノ景物ナル葦ヲ取出タルニツアルベキ。ソノ證ハ。塵添壒囊抄ニ。和泉式部。筆もちびゆがみてものゝかゝれこれやなにはのあしでなるらん。續世継物語ニ。大僧正行慶 中畧 天王寺へまうでたまひけるに。なにはのけしきをみたまふとて。ゆふぐれなるさまあまりをかしく波をみたゞうは墨

のあしてなりけりとなん知らえし。ことにこのゆふべの望より
も。なにはのあしでと見えんげにと申え侍り。かへる雁のうす墨。
夕暮のあしでになりたるもやさしく知らえ侍り。壬二集に。淡
路しまなみを越つけて見ることぞ波のいろをあしでなりけり。
拾玉集に。ゆふまくれなにはえらちゆくうらやあしでのうへにかゝ
る玉づさナド見エタリ。イヅコカ葦手ノ生ヒサル浦アラム。然ルヲミ
ナカク。葦手ヲバ難波ニノミヨセタルニテモ。字ノ手習ニムカヘ
テ。画ノ手習ニセシモノナルヲ知ベシ。カクテ後ソノ手習ニセシ葦
手ノ。風流ナル趣ノアルヲ以テ。種々ノモノヽ文様ニモナセリ。ソハ
逍遥院實隆公ノ五月雨の記ニ。香包ノ繪ニ葦手アリテ。愚渇隨
筆ニ。コレハあしひきの山さくら戸越あるきてこがまつ人ちとされ
りとぞむる。トイフ哥ヲアシデニカキタルナリ。トイヘリ。マタ中右記ニ、
御堂御劔安志天蒔繪ノ細劔。マタ飾抄ニ従殿賜ニ葦手劔平緒ニ
筋ナドアルハ。劔ノ鞘ノ蒔繪ナリ。台記ニ。入道殿御劔中略平緒同
葦手也。件平緒鷹司殿自身付繪云々。マタ園大暦ニ。平緒文葦手。
ナドアルハ。平緒ノ文ナリ。衣服ニカケルハ中務集ニ。ひいなの裳にあ
しでにて。志ら波にそひてぞ帰はたちぬらしうきものあしも
そよといちな葦手。トアルナド。ソノ外ニモナホイトド多カルベケレドフ
トハオモヒイデズ。スナハチコノ檜扇ノ葦手ナドモ同ジタグヒナリ。
コノ葦手ノ画ハ。表ハ。ちる梅の色も白ひもそひつるになどかとふらく人
いならん。裏ハ子日も風中にそだちてみどりなるさが野の小松
加そみさなびく。トイフ二首ナリ。サルハコノ画ノコトハ。栅守元貞翁ガ
考ヘテカケルモノアルヲ。今文ヲ省キ義ヲ摘テ。コヽニ註シテ好事
ノ士ノ願ヲ解クモノナリ。


平家物語奈須与市扇の的の条に云抑
此扇といふハ故
高倉院嚴島御幸の
時三十本きり立明神へ
神納ありし紅に日の丸
の扇之平家都を落し
時神主佐伯景弘此扇
を取出しこれハ帝の御施
入明神の御秘藏之日ハ
故院の御情帝業の御
守たるべし此扇を持せた
まひたらバ敵の矢ハかへつて
其身にあたりぬべしとて祝
言しまゐらせたるよしと
見えたりたもふに今宝庫
に
高倉院の御扇とふもの
あれとかの日の丸の扇と
あるにいさゝかことなるもの
れがため剣は御神納へ

ありしものゝ傳ハれる
なるべし其圖を次に
あげられバ併考ふべし

表ノアシデノウタ。ちる梅のトハ。第一畫ニ梅花ノ落(チリ)タルヲカケリ。色もにほひもトハ。花ノ紅ナルヲ色ニトリ。薫炉ニ煙ノタツカタヲ以テ。おもひニアテタリ。思ひノひヲ火ニトリナスハ古例ナリ。そひつるにハ。第二畫ニ今ヒトツ薫炉ノアル。コレ第一畫ノ薫炉ニソヒタルユヱ。そひノモジニアテ。つるにハ即チ鶴ニ羽タテリ。コレナリ。などかとはるゝハ。などかとノ四言ハ。字ヲ以テ画セリ。第二畫ニなトヤウニミユル即チな。ナリ。第三畫車ノウヘニカケルガとノ字ナリ。はるゝハ車ヲ以テ譬ヘタリ。(以下車ヲ以テタトフ。)車ノ輪半(ナカバ)破(ワ)レタルヲカケリ。コレわるゝナリ。訪(トハ)るゝノれト破(ワル)るノわトハ。假名タガヘレド。當時スデニウルハシキ文字(モジ)ヅカヒニスラ假名タガヒヲリ〳〵ミエタリ。マシテコレハ画ノ譬喩ナレバ。サバカリノコトハトガムベキカギリニアラズ。人ハならんハ。前件ノ破車一輪ヲ以テひとハニカレリ。コレハタハトわノ假名タガヘルコト。前件ニイヘルガゴトシ。ならんれ。輪ノ半(ナカラ)ナルヲなからんニトレルナリ。マタ裏ノアシデノウタハ。ねの日せるトハ。第一畫ニ女ノ寐タルト男ノ起タルヲカケリ。起(オキ)ト伸(ノビ)トハ意大ヤウ同ジケレバ。伸タルニシテ。寐伸(ネノヒ)スルヲねの日せるニカレルナリ。中にそだちてハ第二畫ニ稚児ノ男女ノ間ニ居ルヲ以テタトヘタリ。みどりなるハ稚児ヲみどり子ト訓(ヨ)メハ。再ビカリテみどりニタトヘ。なるノ二字ヲソヘタリ。さが野の小松ハ。第三畫さが(サガ)ト云字ヲ松ノ枝ニツクリナセリ。野のハ第二畫ニのしト字ニテカケリ。こまハ第三畫ニこまトカケリ。つハ鶴ヲ以テアテタリ。ツル。ノ約(ツヅ)ツナルユヱナリ。らにそなびくハ。第一畫第二畫ニワタ

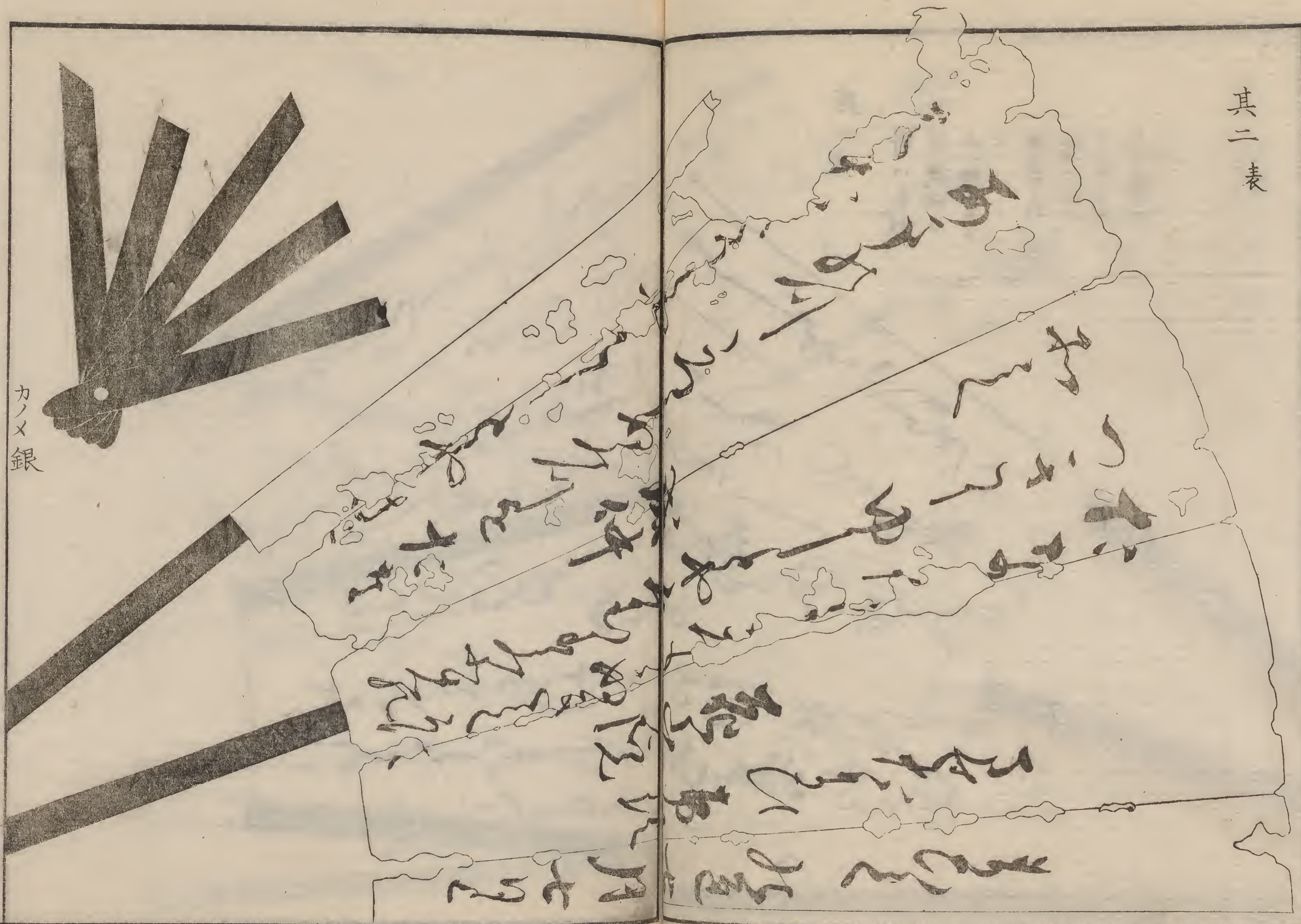
高倉院天皇御扇

其一表

哥ハ久我通親卿ノ手跡ナリトゾ

地帋白

骨ハ竹ノクロヌリスヘテ畫ノゴトシ


其二 表
カノメ銀

其三裏

其四裏

檜扇

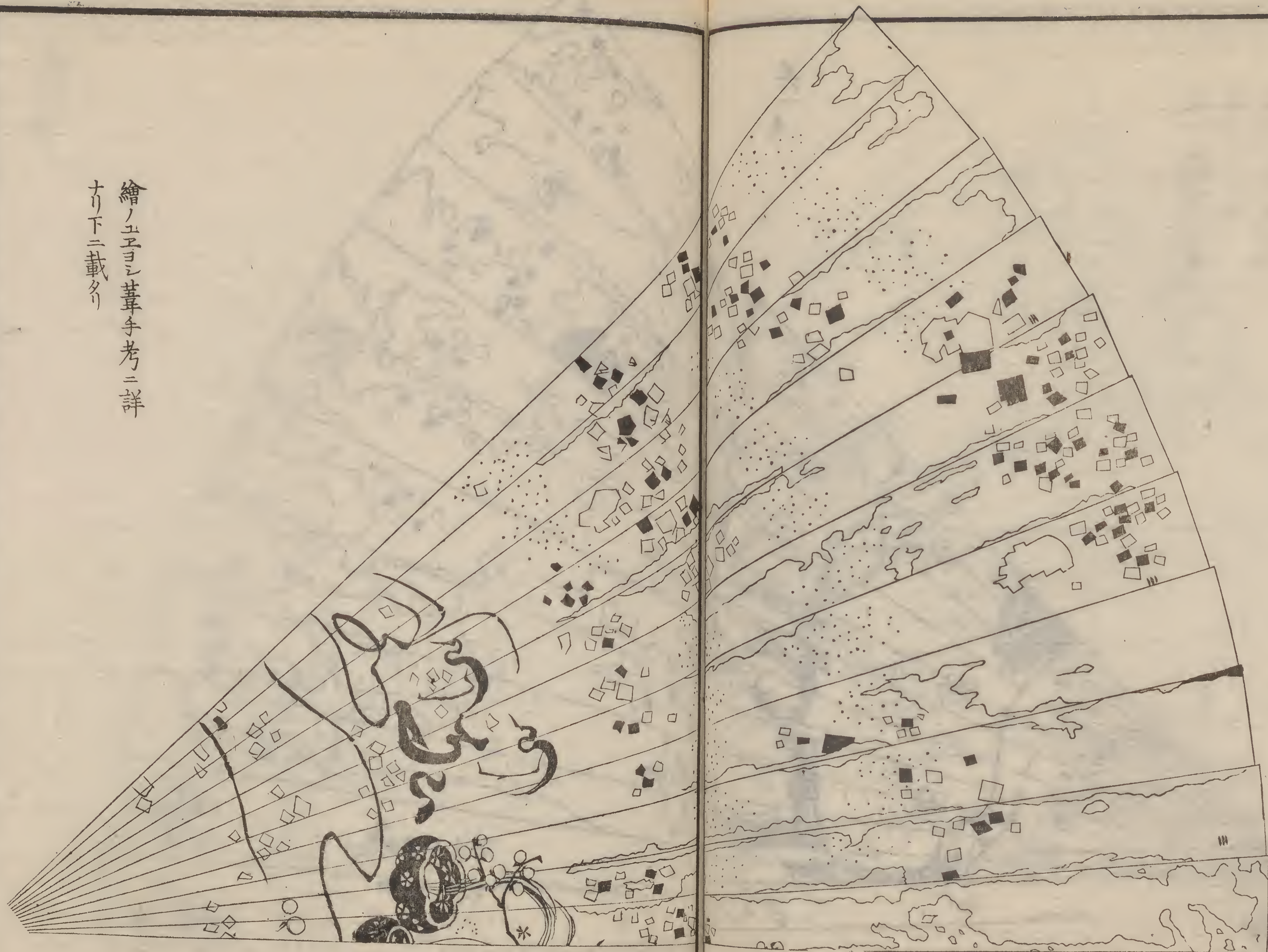
宝物目録寄附ノ人ヲ註サズ故ニ今ニ詳ナラザレ𪜈凡八六七百年以前ノモノナルベシ



其一表

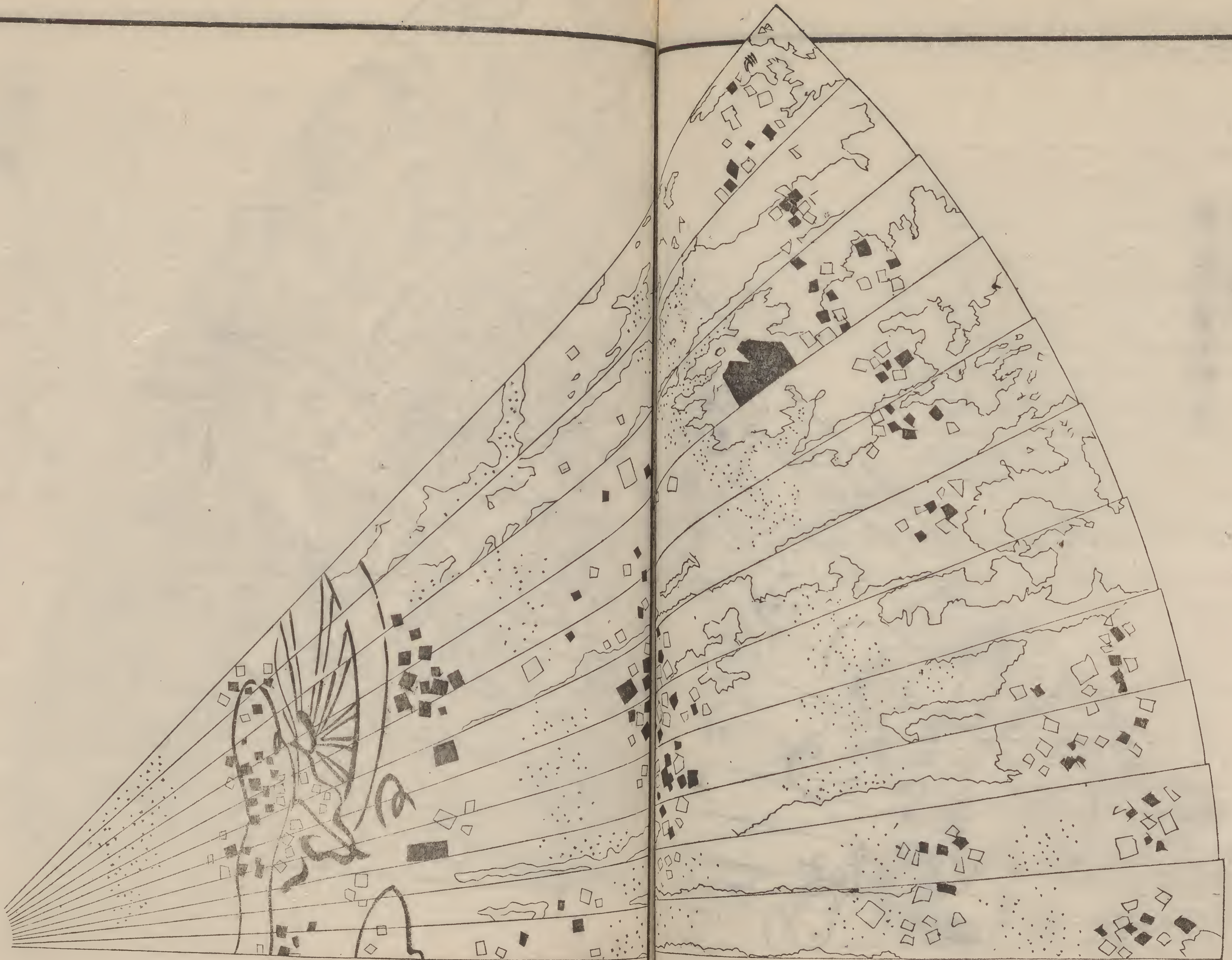
梅ノ幹標白緑
花クレナヰ
火取スミマキエ
ギン泥

其二表



繪ノユヱヨシ葦手考ニ詳
ナリ下ニ載タリ

其三表



其一裏

公卿直衣クビガミ
ハタ袖白身薄縹
サシヌキ紺青モン
銀泥

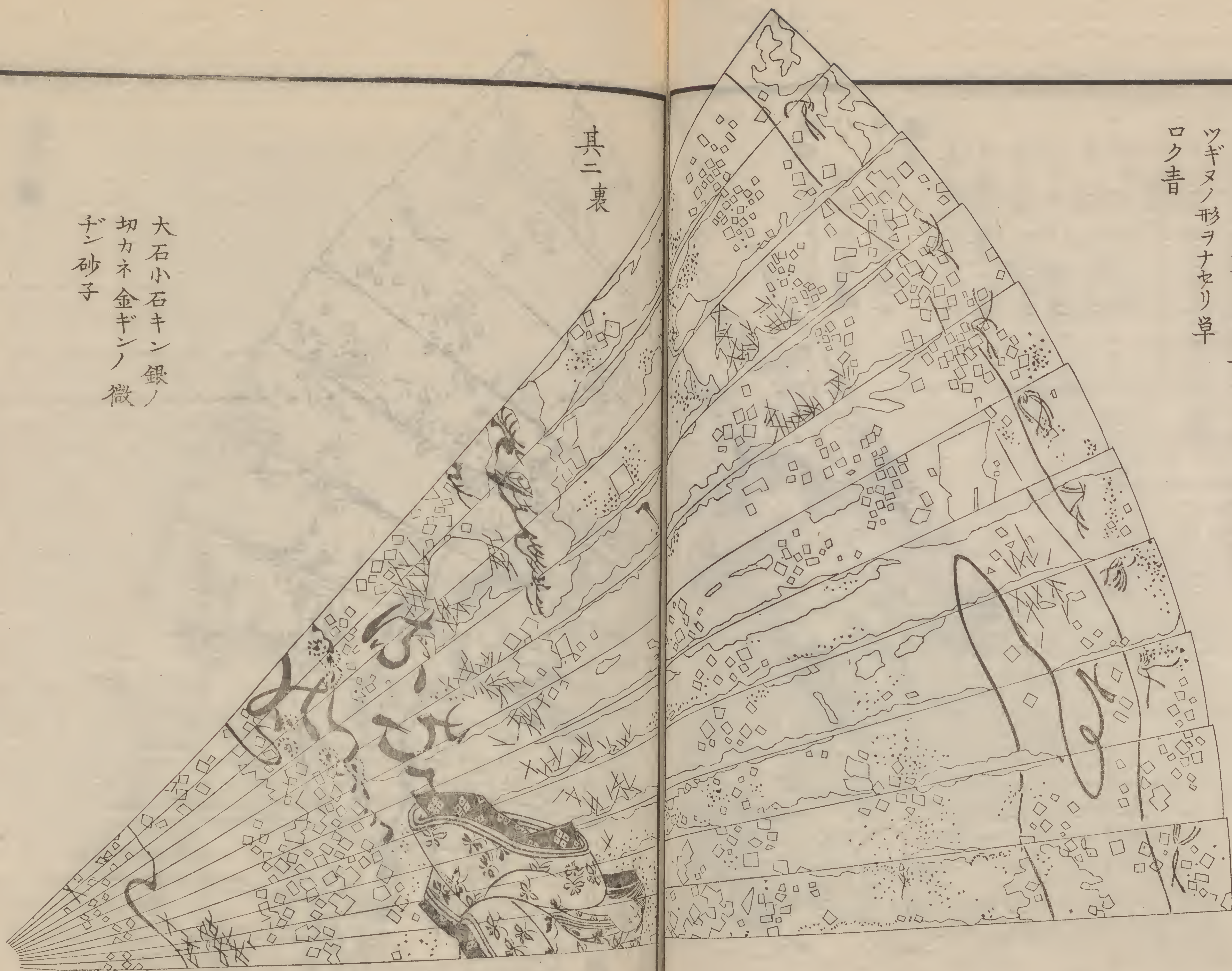
今按ニクビガミハ
タ袖ノ白キハ直
衣ハ表ミナ白ナ
レドウラノ縹ヨ
リニホヒテ身ハイ
ロアリトミエ首ガ
ミ鰭袖ハオモテノ白ヲ
ヲリカヘシテ裏トシタルモノ故
ニウラヨリニホフ色ナシヨリテモハラ白キナリ

女房ウハギウスクレナヰ文ギン泥張袴紅
ヒトヘ胡粉五ツキヌ紅

カナメ銀基金メ
ツキノ鳥

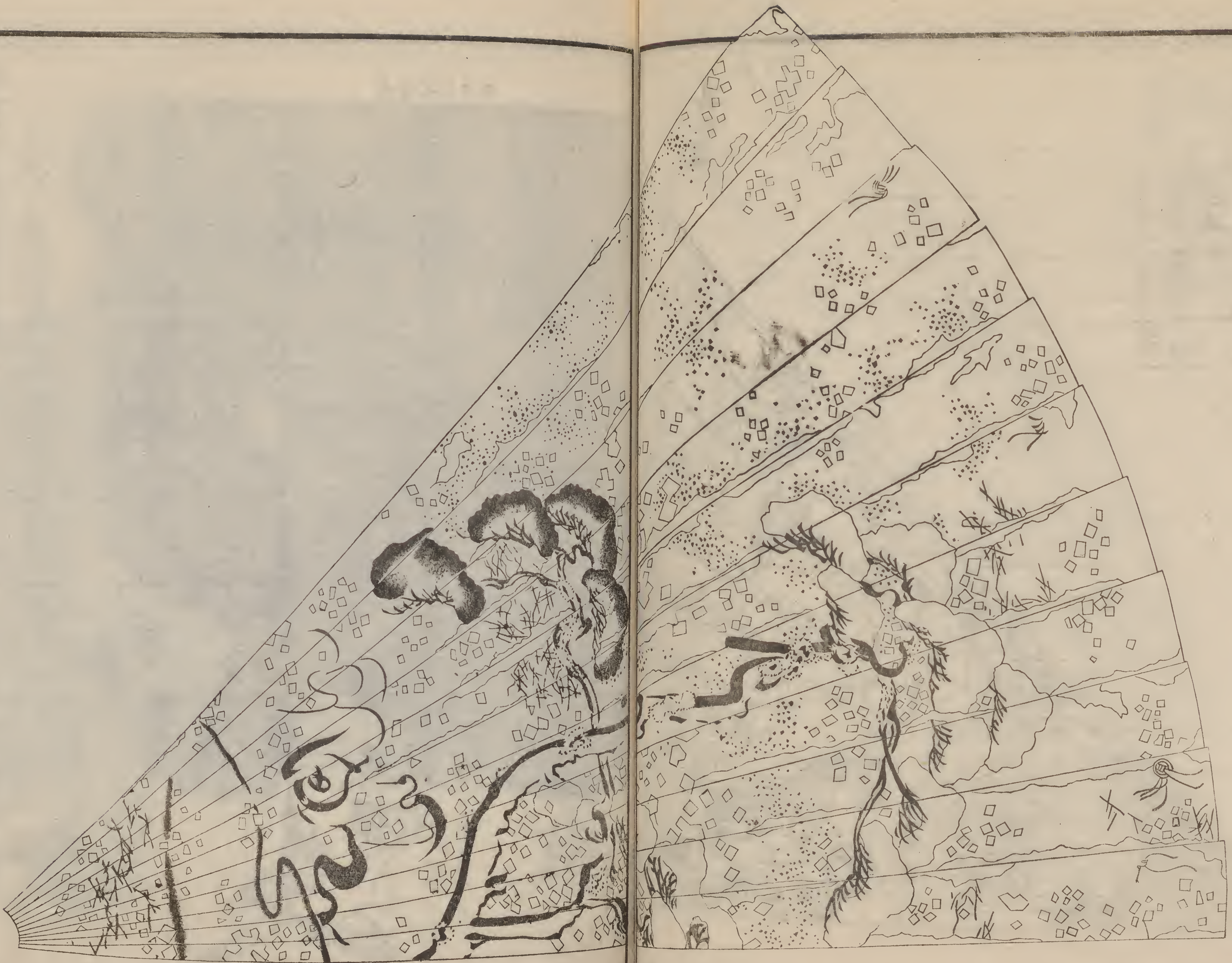


女童上着ムラサキ文ゲン青丹ヲ以テ筋ヲヒキ五ツギヌノ形ヲナセリ草ロク青



其二裏

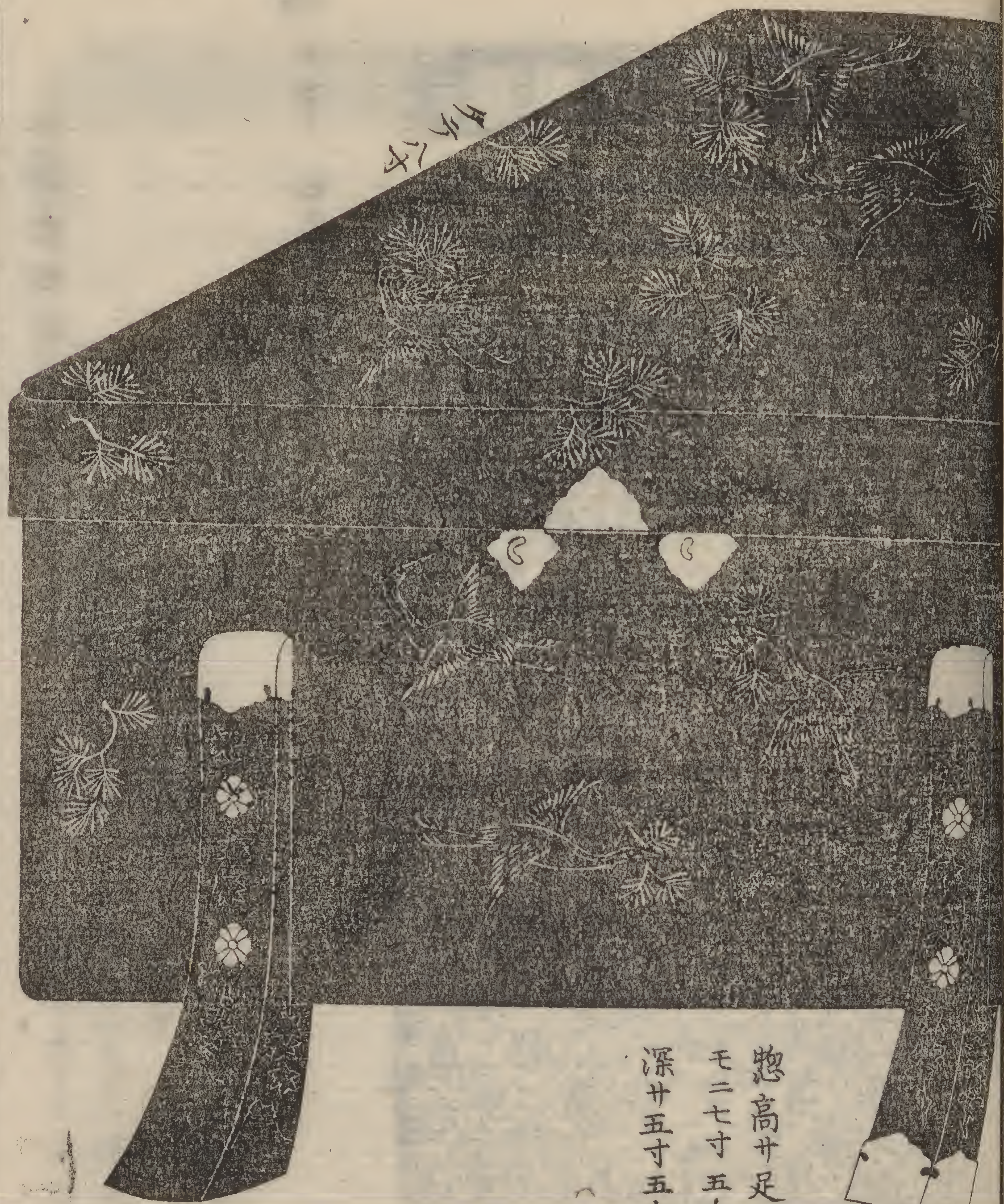
大石小石キン銀ノ切カネ金ギンノ微ヂン砂子



安徳帝御産着唐櫃

クロ塗マキ繪鶴銀松金カナ具金メッキ足螺鈿研出シ

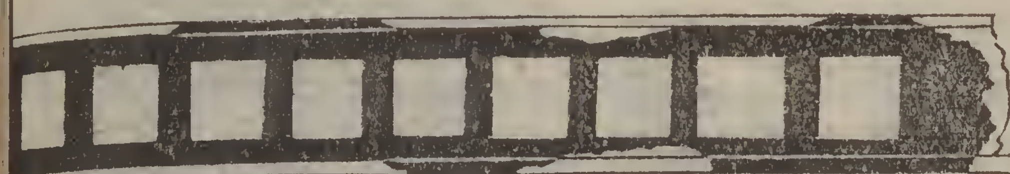


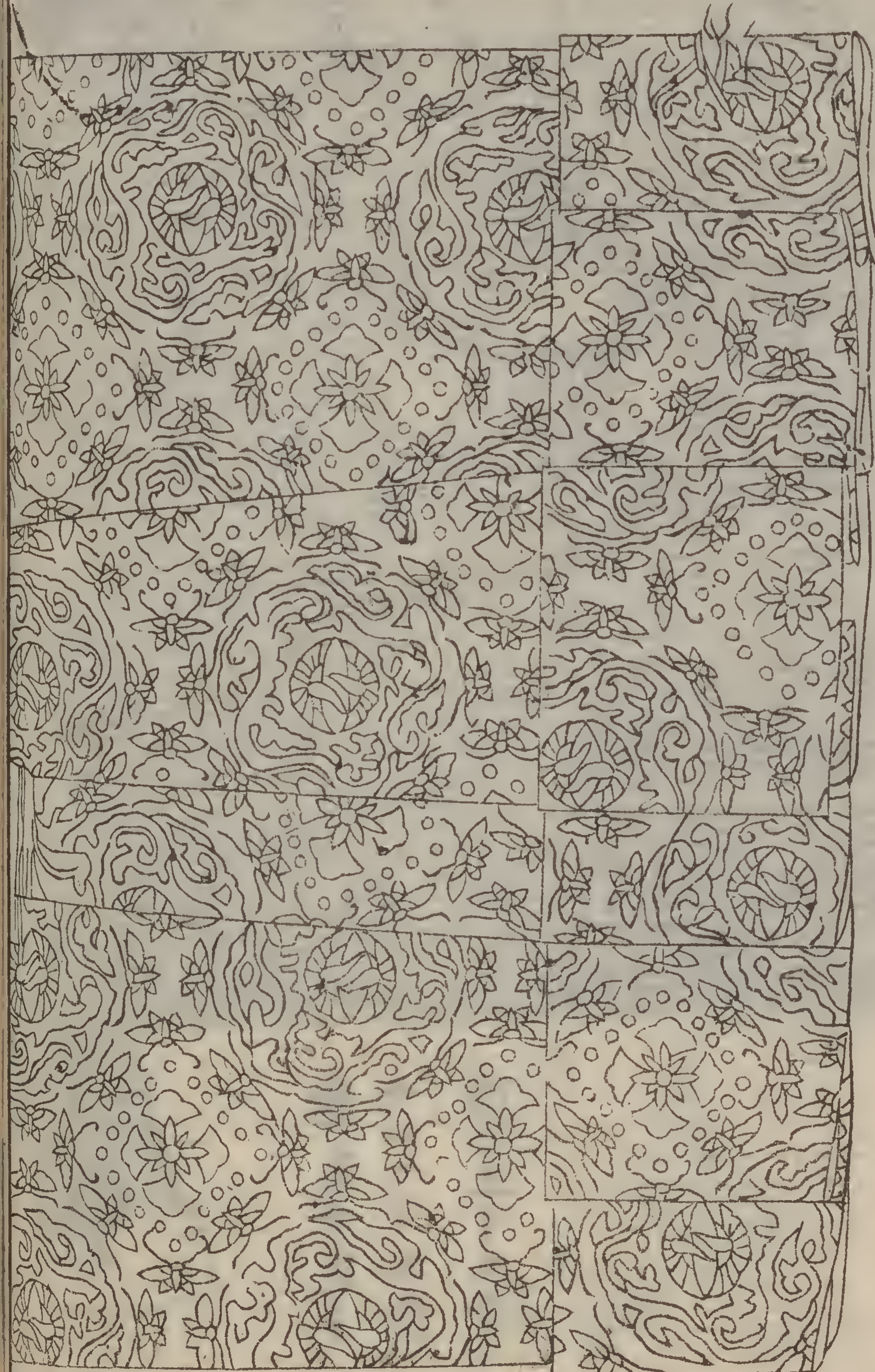
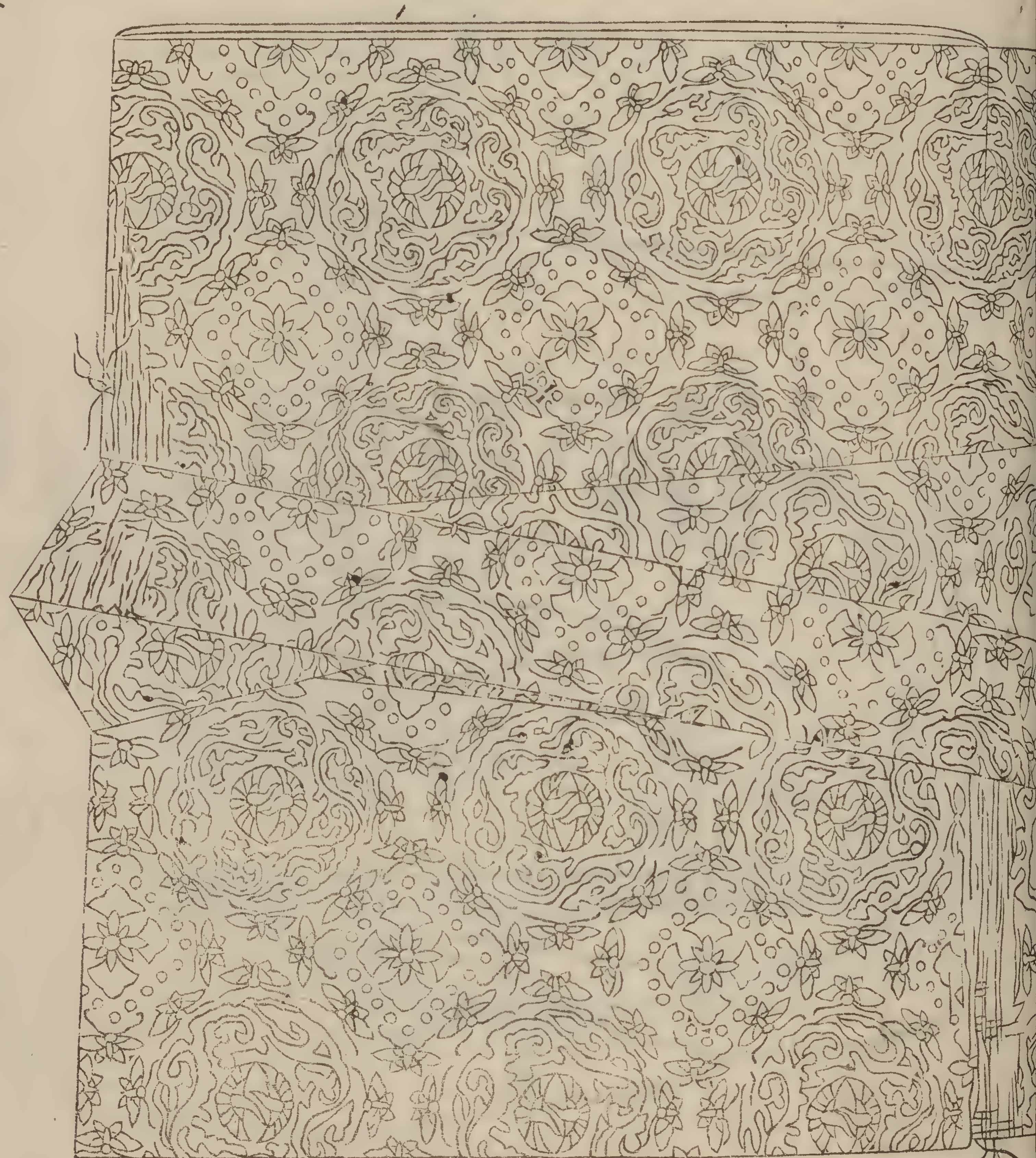


安徳帝御産衣

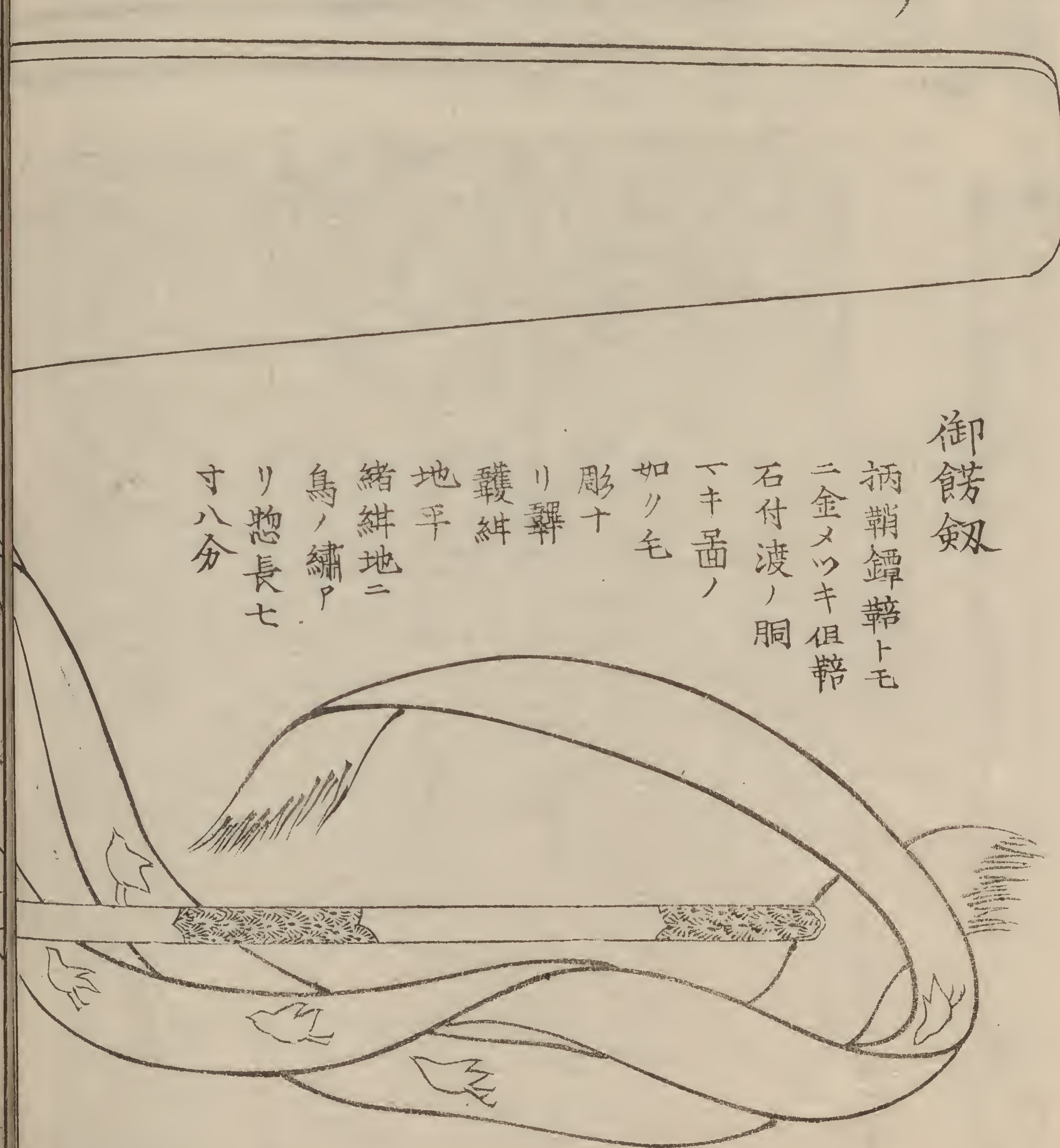
コノ御産衣ヲハジメ御太刀御石帯ソノ外ミナ御誂ノ具トミユ實ニ服御シタマヘルニハアラサルベシマタコノ御産衣トイフモノヽ状ヲ考ルニ御半臂ニヤトオボシ

御石帯　無文巡方烏油皮ナリ

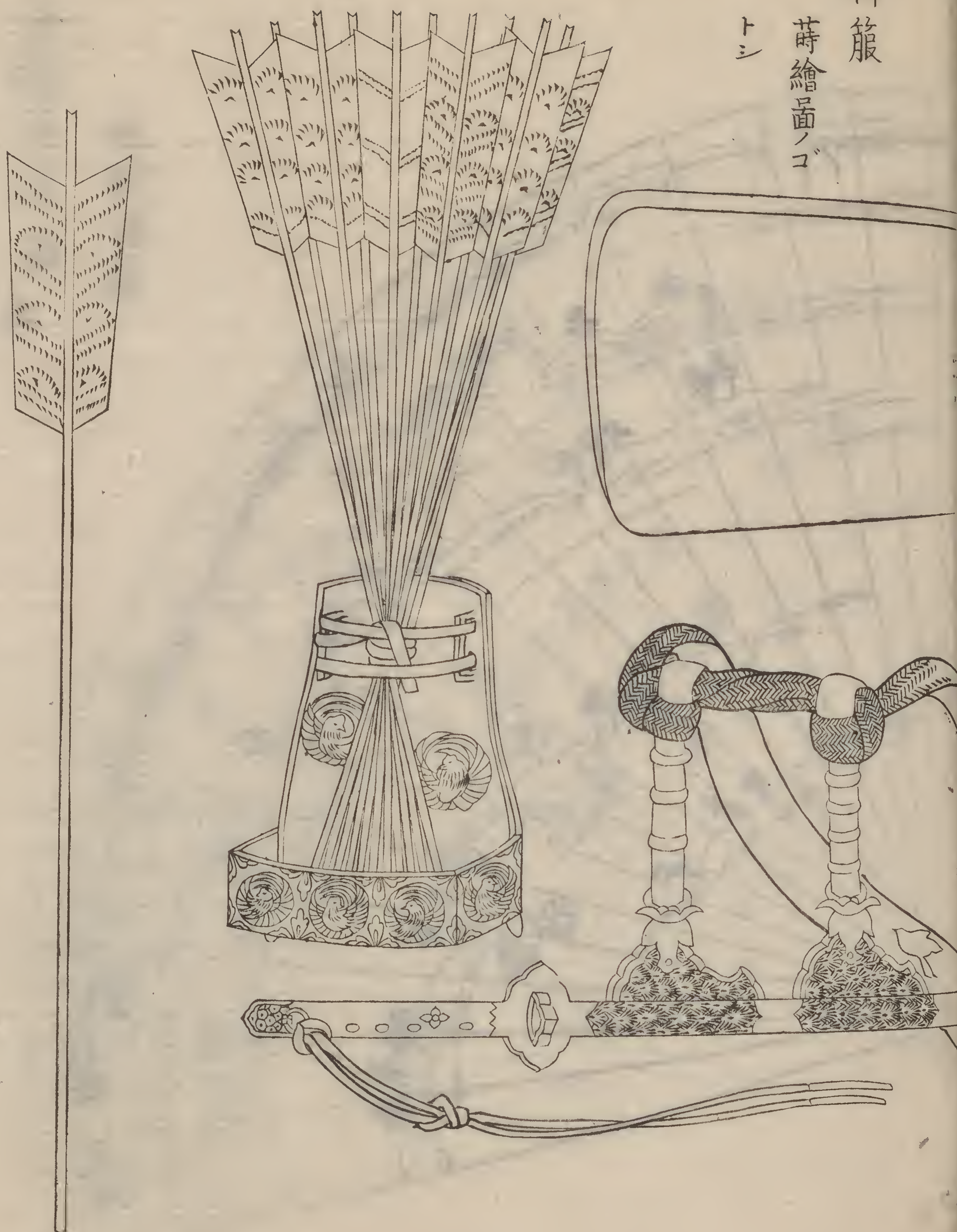



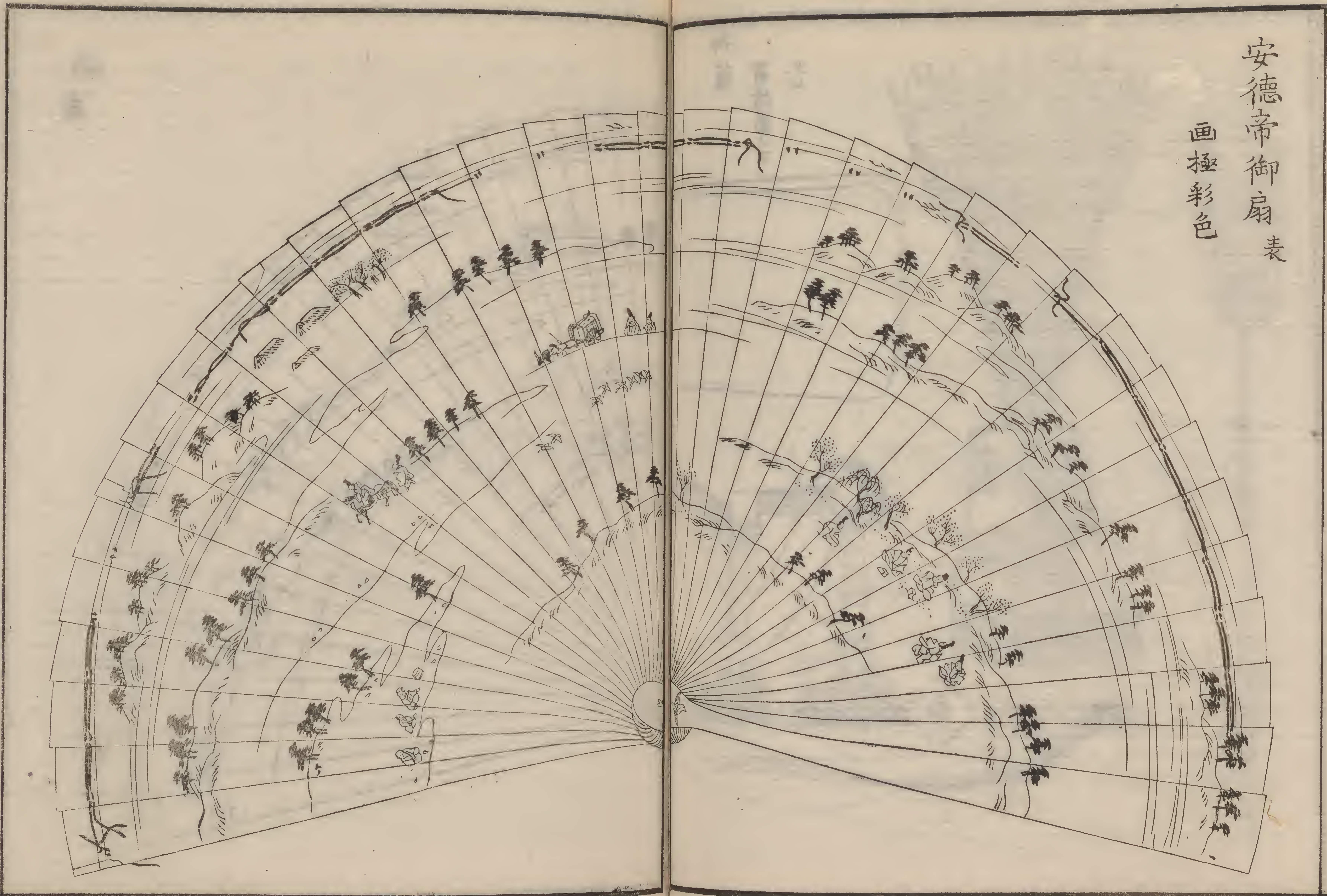
表ヤマト錦裏紅麻損ジオホシ長ラレヲコメテ一尺二寸幅ソノ外准ヘシルベシ



御笏
木畫ノゴトシ
御餝劔
柄鞘鐔鞆トモ
二金メツキ但鞆
石付渡ノ胴
ヘキ畫ノ
如ク毛
彫ナ
リ鞢
韄緋
地平
緒緋地ニ
鳥ノ繡ア
リ惣長七
寸八分



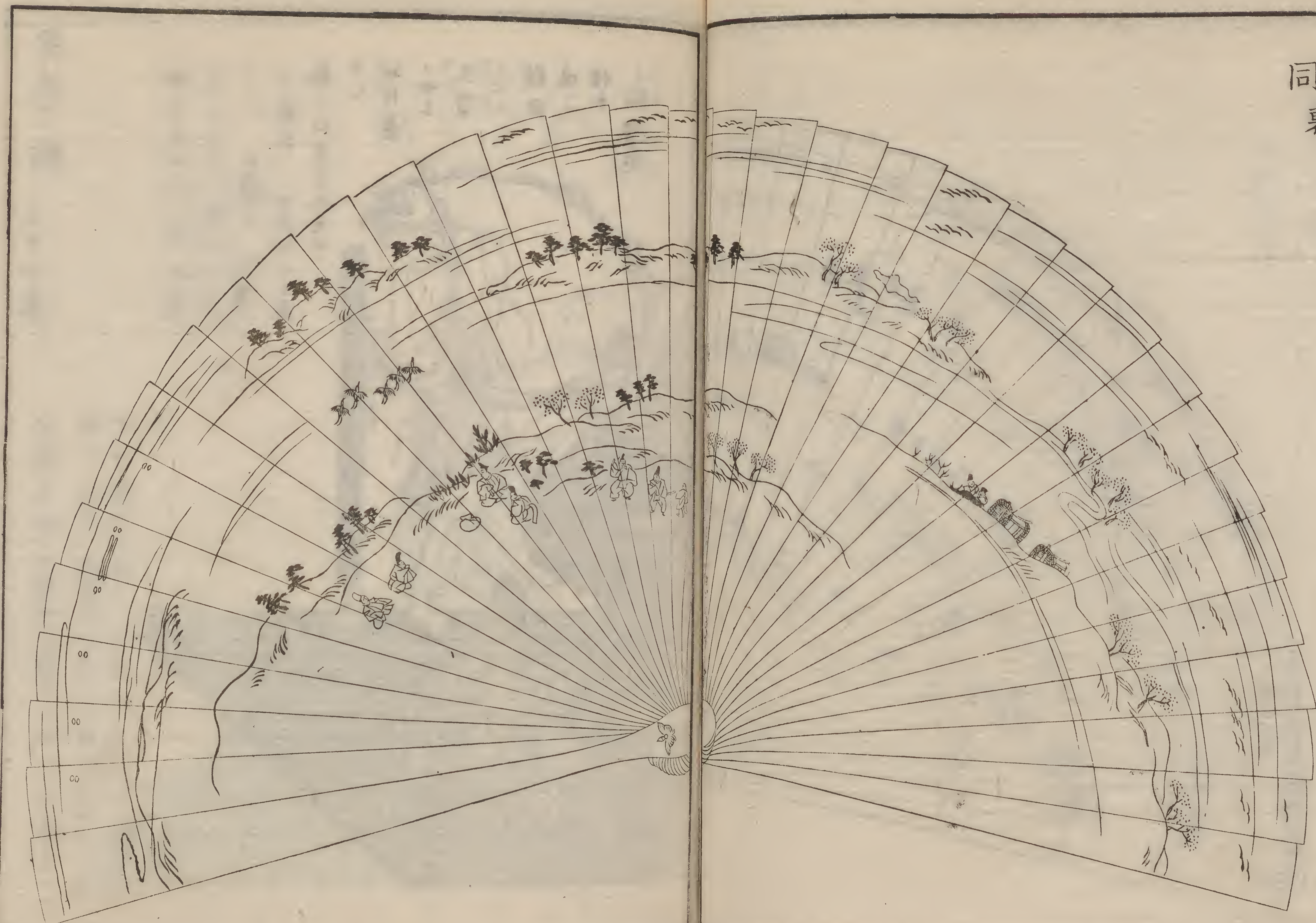
御箙
蒔繪畫ノゴ
トシ



安德帝御扇　表

画極彩色

同裏



黄揚ノ駒　大サ如圖

振毛立毛ミ十白　玉眼
ヒヅメ水牛　銜ギシ圖ノ
ゴトシ　差縄白　鞦引ト
モニ赤糸　四方手ギレ前
輪ノ四方手ウセテ
ナシ
切付圖
ノ如シ
生質
シビズ
鞍前
後トモ
柿木
ノ輪　鞍褥



宝物目録ニ春日ノ作トスミカレ𪜈春日ハ上古ノ人ナリ製作ノサマヲ考ルニ後世ノモノナリ春日ノ作トイヘルハオソラクハ誤ナルベシ

アヤ
泥障　柿色
ノ皮　力革
ヤマト錦
アブミ　鉄ノ
サビ色
腹帯ウセテナシ故ニ
由木カラミナリシヤ今
ハシレガタシ假ニヒモヲ
ツケタリ

臺クロヌリ　金マキエ
カナ物金メツキ



リテ。上ノカタニ霞ヲカケリ。サテソノ霞こノ字ヲこノ如ク筆一畫ニツクリ。なノ字ヲ筆二畫ニカキ。長クヒキテなびくニアテタリ。

ソモ〳〵葦手ハカク字ヲマジヘテカク一種ノ画ナリ。シカルニ源氏物語ノ梅かえノ巻ニ。あしでうきゑをかきもひ〱まらけとのゝさまへバ。トアルニヨリテ。葦手ト歌繪トノケヂメオホツカナク、ギラハシキユヱ。谷川士清ノ倭訓栞ニハ。歌繪ノコトヲ。あしでとは少し異あるまゝやトイヒ。富士谷御杖ノ北邊隨筆ニハ。葦手ノコトヲ。歌繪のごときものまたあしでとおもはゆる。トイヒテ。タドタドシゲニ疑ヲ存セリ。畢竟葦手ハ上件ニイヘルガ如シ。歌繪ハ一首ノ歌ノ意ヲ画ニアラハシカクナリ。物語画トテ世ニ伊勢源氏ナドノ巻〻ノ意ヲ画(エ)ガケルモノアリ。コレニ對シテオモフベシ。別ノ子細ナシ。後撰集ニ。

みちのくにへまかりける人に。あふぎてうじて。うたゑかきて。それにつけてつかはしける。トアルスナハチコレナリ。タトヘバ山家ノウタナレバ山家ノサマヲカキ。海路ノウタナレバ海路ノケシキヲカキテ。江山ノ翠藹。雲煙ノ濃淡。河水ノ細波。大海ノ驚濤。ソノ趣意ヲスコシモタガヘズ畫(エガ)カサレバ。無声ノ詩トイフコトワリニカナハズ。サレバ葦手トハ同日ニイフヘカラヌムツカシキモノナレバ。繪所ノ上手ナラズハ畫(カキ)得(ウ)ベキコトカタカルベシ。シカルニ尺素徃來ニ。假山水。海様。河様。泉様。遣水様。巖井様。細谷川様。枯山水様。山形。野形。洲濱形。葦手形等。トハアレド。歌繪様トナキヲ。疑フ人モアルベケレド。前件ニイフガゴトクナレバ。歌繪ハウタニヨリテ。山水ニモ海ニモ河ニモ泉ニモ山ニモ野ニモ何ニモカクモノユヱ。一種ノ名目アルベキ

モノニアラズ。源氏ニうたゑあーでトアルハ。哥ノ意ヲモ画カケ。葦手ヲモ工ガケ。トノタヾヘルハカリニテ。うたゑトあーでトフタツノ名目ノコトニハアラズ。先達コヽニ心ノツカサリシユヱ。ミナ正義ヲ得ザリシナルベシ。

田中芳樹

琴

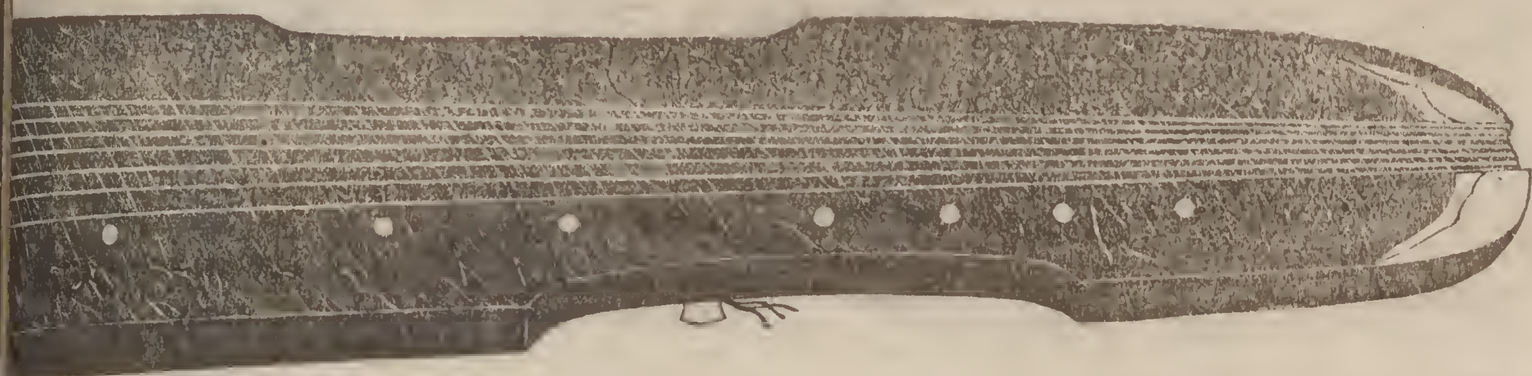
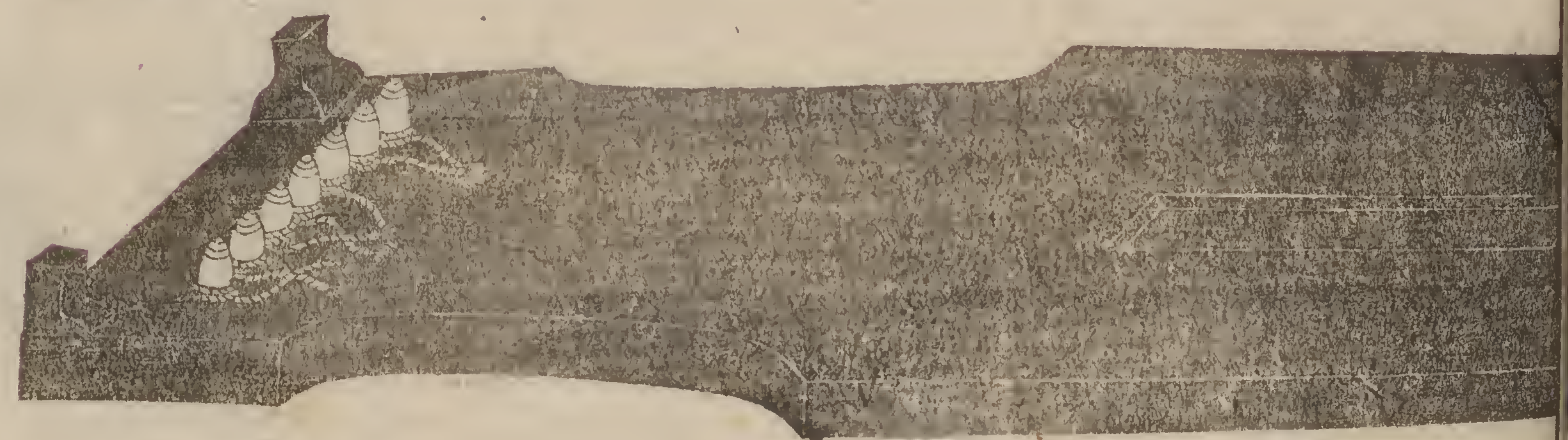
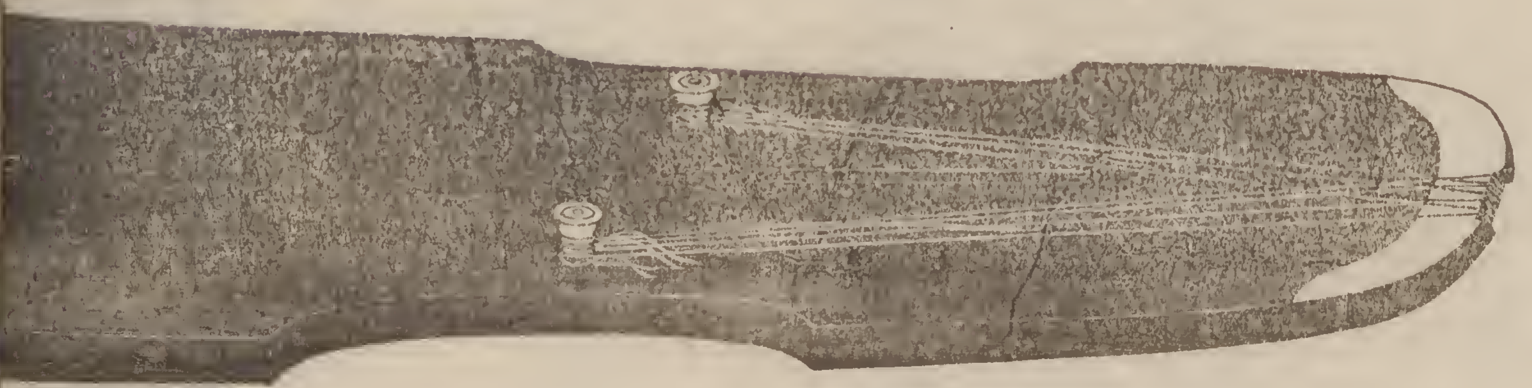
社傳ニ平重衡ノ愛翫シタマヘル琴ナルヨシイヒツタフ。棚守房顕記ニ。法花トイフ名物ノ琴ノコト見エタルハ。コレナルベシ。玉堂雜記ニ。嚴島神庫ニ。重衡の琴藏まる。予。上卿市正といふ神家ニて観たり。六七百年のもの。断紋ありて。實ニ雷家などの製なるべし。平家の時琴行はるトイヘリ。コノ雷家ハ。唐ノ世ノ琴逅ニ雷氏ナルモノアリテ代々ソノ名ヲ擅マヽニセシヨリ。雷氏ノ製ナラテモ。断紋ナドアラハレテ。フルキモノヲハ。トモスレバ雷琴トイフユヱ。玉堂モカクイヘルナリ。サレハ。當社ノ琴。雷氏ノ製ニヤアラザルニヤハ。今知ラルベキニア

ラズ。サレドモ。断紋ニヨリテオモフニ。玉堂ガイヘルゴトク。六七百年ノ
物ナルコトハ疑ヒナシ。蛇腹牛毛ハ更ニモイハズ。所々ニ梅花断モ
ミユレバ。千年以上ノ物トイハンモオソラクハタガフベカラズ。マコトニ
殊勝ノ古物ナリ。サテ琴ノ製作ニ定式アルコトハ。琴經ソノ外古
書ニ詳カナレドモ。マタモテアソブ人ノ好ミニヨリ。長短サマ〲ニテ。一
概ニハイヒガタシトカ。コノ琴ナドハ。普通ヨリハ少シ大ナルヤウナリ。
仲尼様トイフゾコレナルベキ。

額ノ長一寸二分 岳廣三分高四分五厘 承露廣五分高一分五厘 岳ノ内ヨ
リ焦尾ニ至テ三尺七寸二分 龍齦七分 合テ長三尺九寸九分 幅岳ノ下
ニテ四寸九分 肩ニテ六寸一分 腰ニテ五寸一分 焦尾ニテ四寸一分ナリ 但面ハ
圓ナルユヱニ底ノ方ナルカタヲ以テハカレリ 厚サ 頭ニテ九分 鳳翅ニテ五
分五厘 冠角ニテ五分ミナ縁ノ度ナリ 額ノ端ヨリ三寸下リテ鳳嗉ア
リ長六寸五分 彎ノ深一寸 肩ヨリ腰マデノ鳳翅ノ長一尺四寸九分 龍腰長
七寸一分 彎ノ深六分 ソレヨリ焦尾マテ七寸六分 絃眼唐真鍮ノ鵐目 徽銀

裏 額ノハシヨリ一尺二寸四分サガリテ竜池アリ 竪六寸八分横八分 龍齦ヨリ五寸五分上
リテ鳳沼アリ 竪三寸八分横八分 龍齦ヨリ一尺九分アガリテ鳳足アリ 軫池竪五分横四
寸

護軫高九分



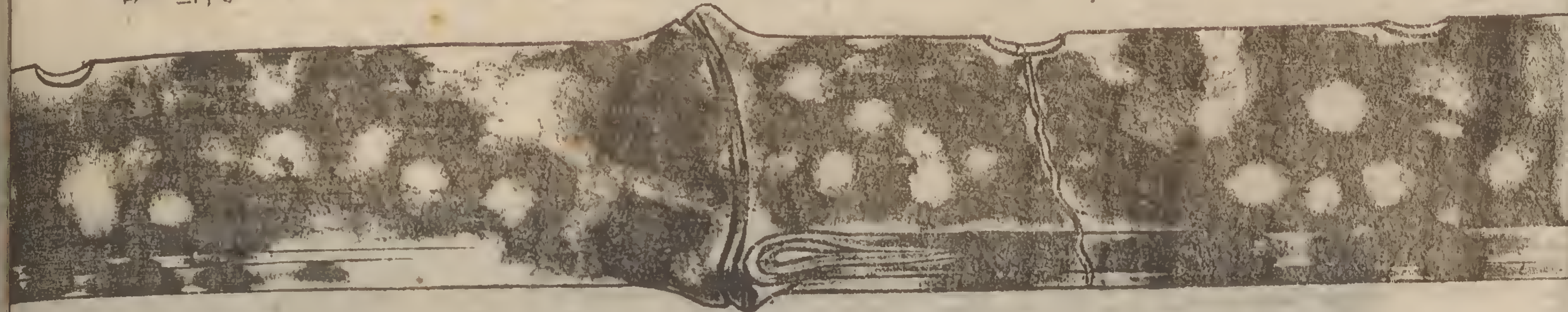



指渡八分弱

駐脳笛

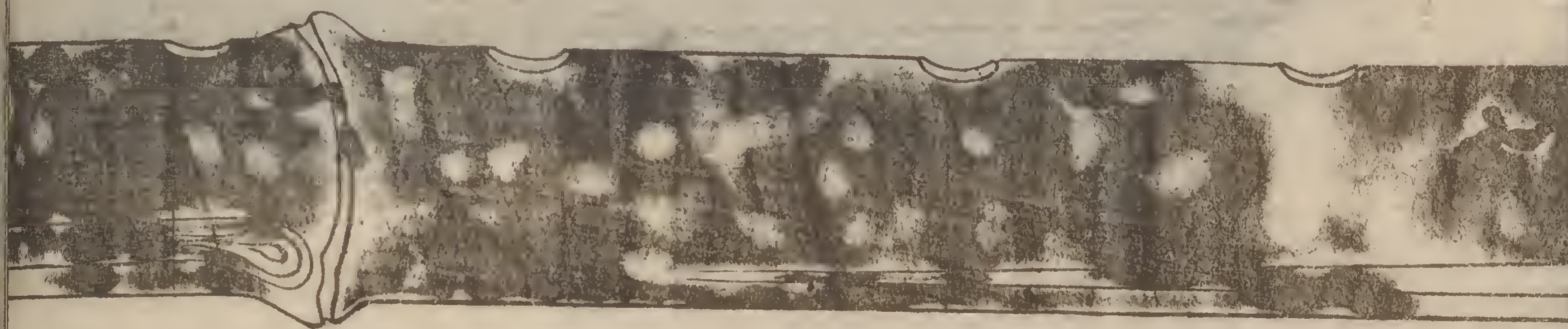
豊臣大閤征韓ノ時。カノ國ヨリ献セシ物ナリトゾ。

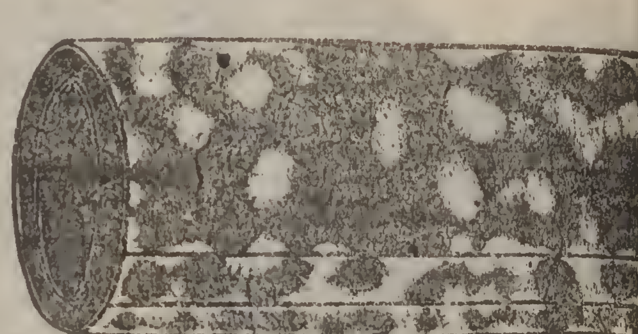
秋長夜話云。厳島ニ駐脳ノ笛アリ。奇物ナリ。駐脳ハ西域ニ出ツ。漢土ニ来ルハミナ器ナリ。日本ニモ入ルトイヘリ。王子年拾遺記曰。丹丘之國有夜叉駒跋之鬼。能以赤馬脳為瓶盂及楽器トミユ。コノ説ノゴトクナラバ。最奇物トイフベシ。小窓別記ニイハク。駐脳榼ハ。魏后ノ器ナリ。容三升。玉ヲ以ヲ縫之。人称西域之鬼作。コレヲミルニ。拾遺記ノ説誣ベカラズ。



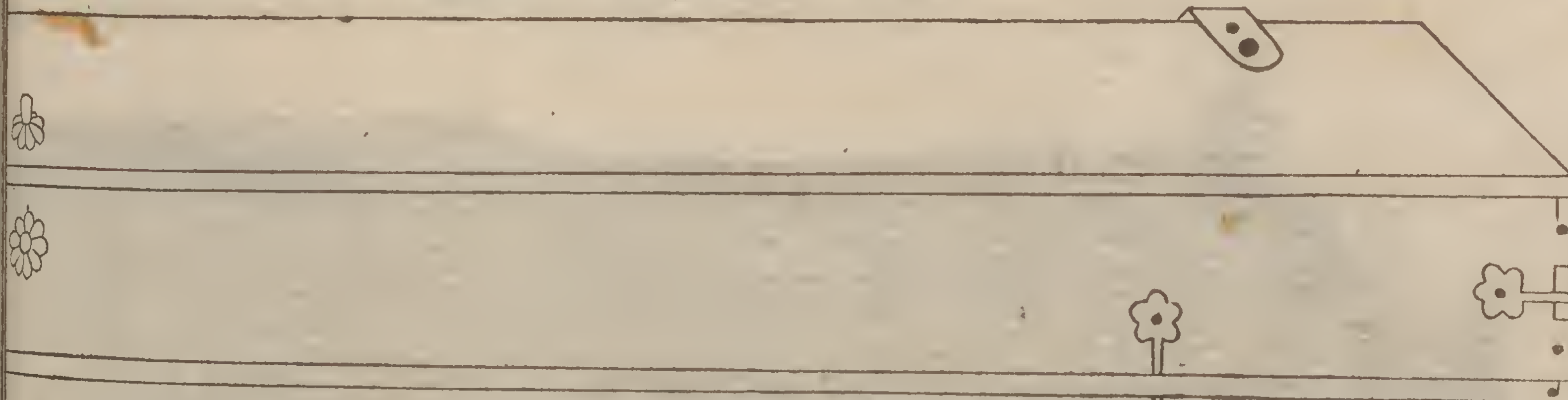


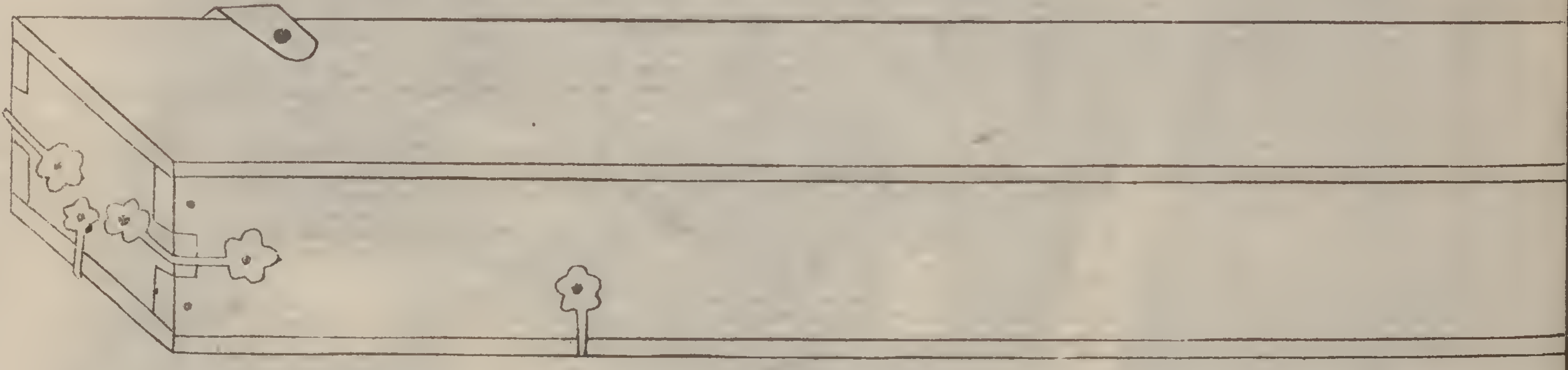
笛ノ如キモノヲ以テ哥ロヲフタギタリソノ質ハ羊角ノ如シ

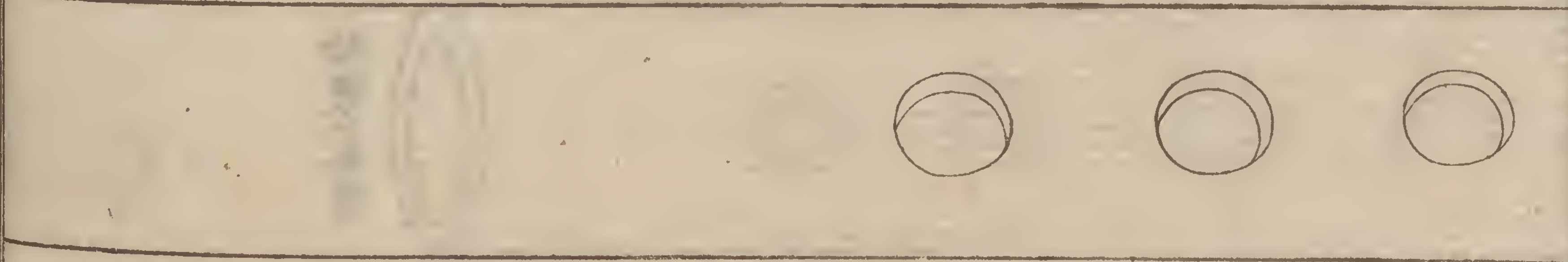


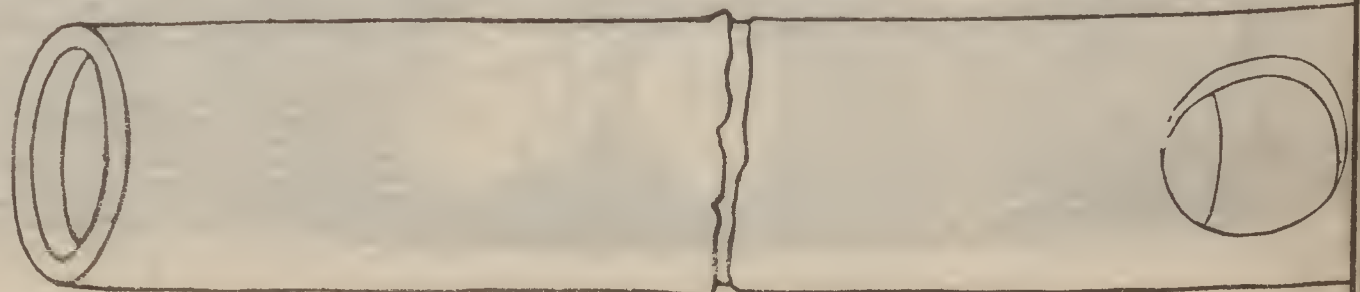


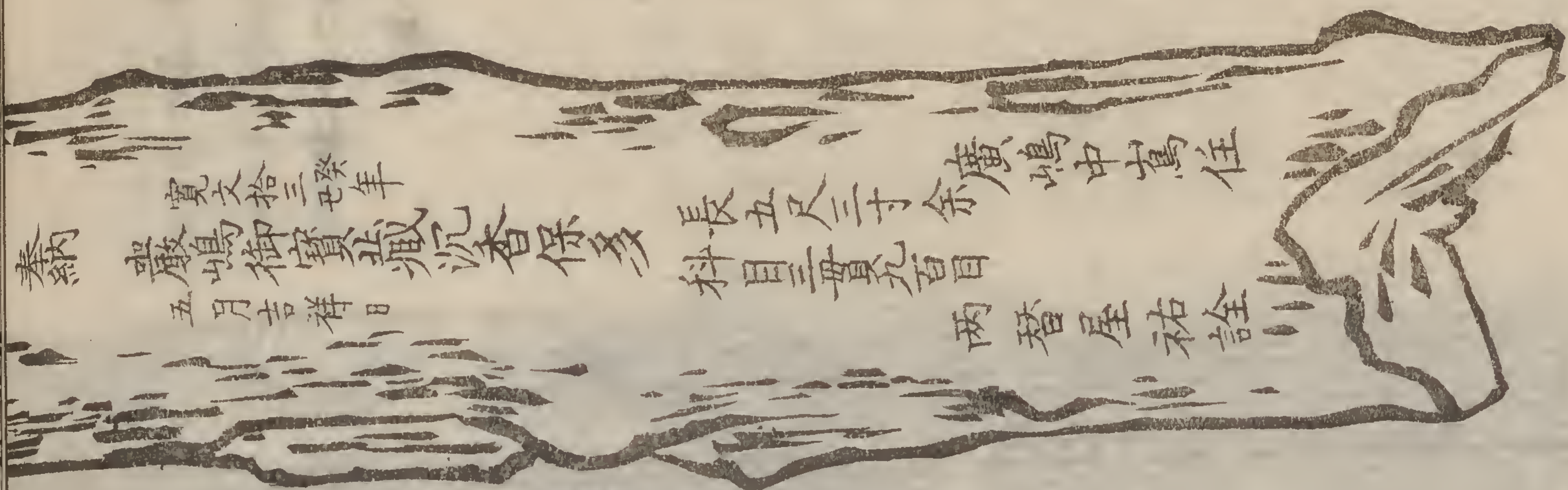
笛上箱











沉枕

木口上ノ方

金イキヱ





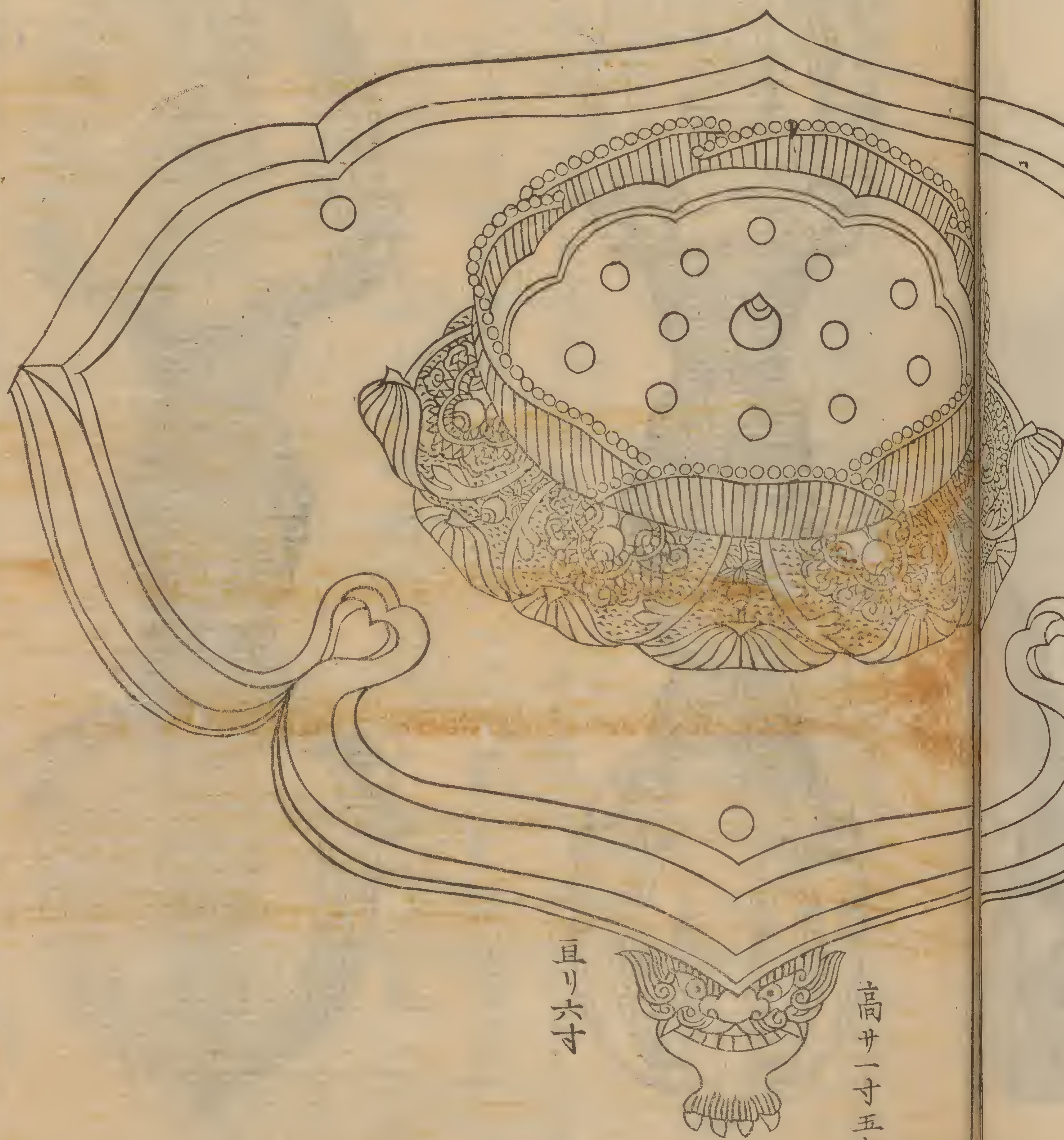
上箱クロヌリ赤漆ヲコステ浅野但馬守内宮内卿トカキ付アリ

下ノ木口梅ノ蒔繪

沉ノ片面ソギ、オトシ黒塗藤丸ヲマキタリ

弘法大師隨身佛具鈴杵臺盤





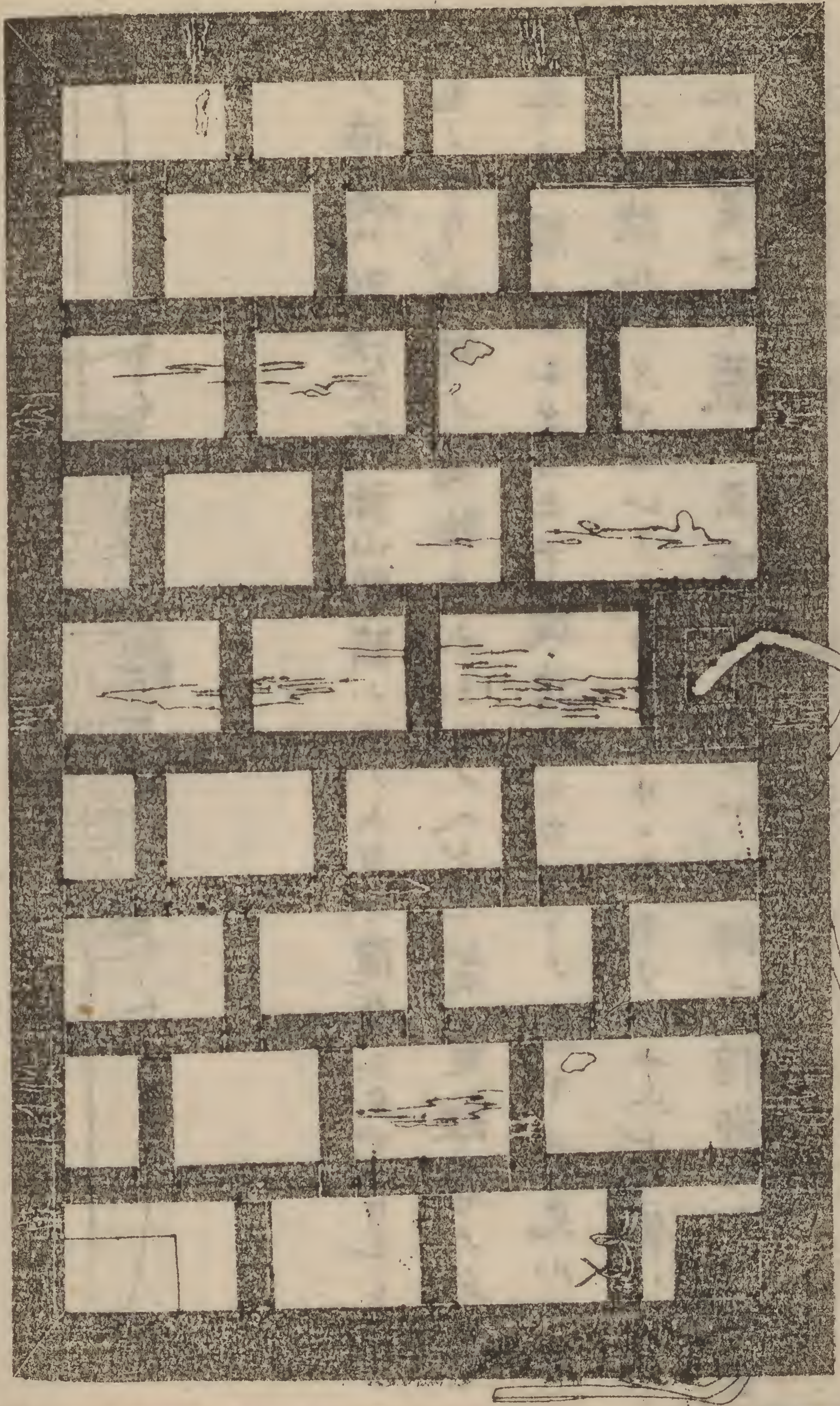






コノ佛具ハ。弘法大師。弥山開闢ノソノムカシ。随身シタマヘリシトコロノモノナリ。大師ノ遺物オホシトイヘドモ袈裟經巻ノタグヒハ。年ヲ經ルニシタガヒテ。破損セシカバ。ソノ全キヲ見ルコト能ハズ。然ルニタヾコレノミカクイサヽカモソコナハレズ傳ハリキヌルハ。實ニ千載ノ至寶ニアラズヤ。大師ヲ信仰セン人。緇素トモニ。タレカ拜観センコトヲ願ハザルベキ。

弘法大師袈裟



コノ袈裟ハ。弘法大師。弥山ニオイテ。求聞持修法ノトキ着タマヘリシモノナリトイフ。平絹ニテ製シタリ。色ハ年ヲヘテウセタレバ。サダカニ知ラレズ。イハユル僧伽梨ナリ。何ノ事モナキモノナレド。大師シタシク身ニナラシタマヘルモノナレハ。コヽニ蔵シテ。崇敬スル人ノ信心ヲ深カラシム。

和琴
箏

頭ヨリ尾マデ六尺四寸一寸三分

七寸

五寸

足ウセテナシ

ウラ板杉厚二分

和琴ノ裏書
圖ノ如シ

永享三年卯月十九日更修理也
執行
宮内卿法印良承

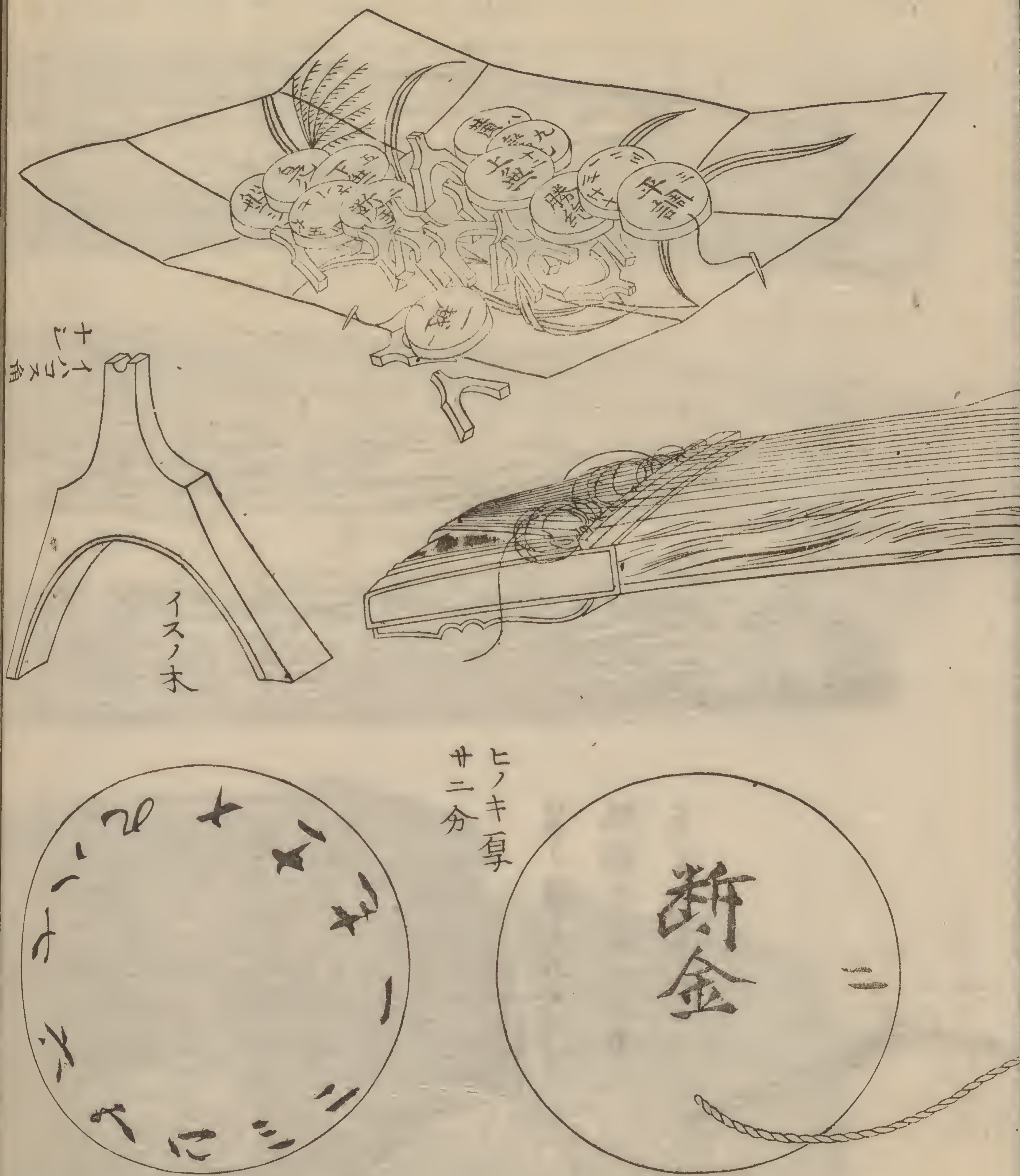
箏ノ惣長五尺九寸
幅頭ニテ七寸六分
尾ニテ六寸三分



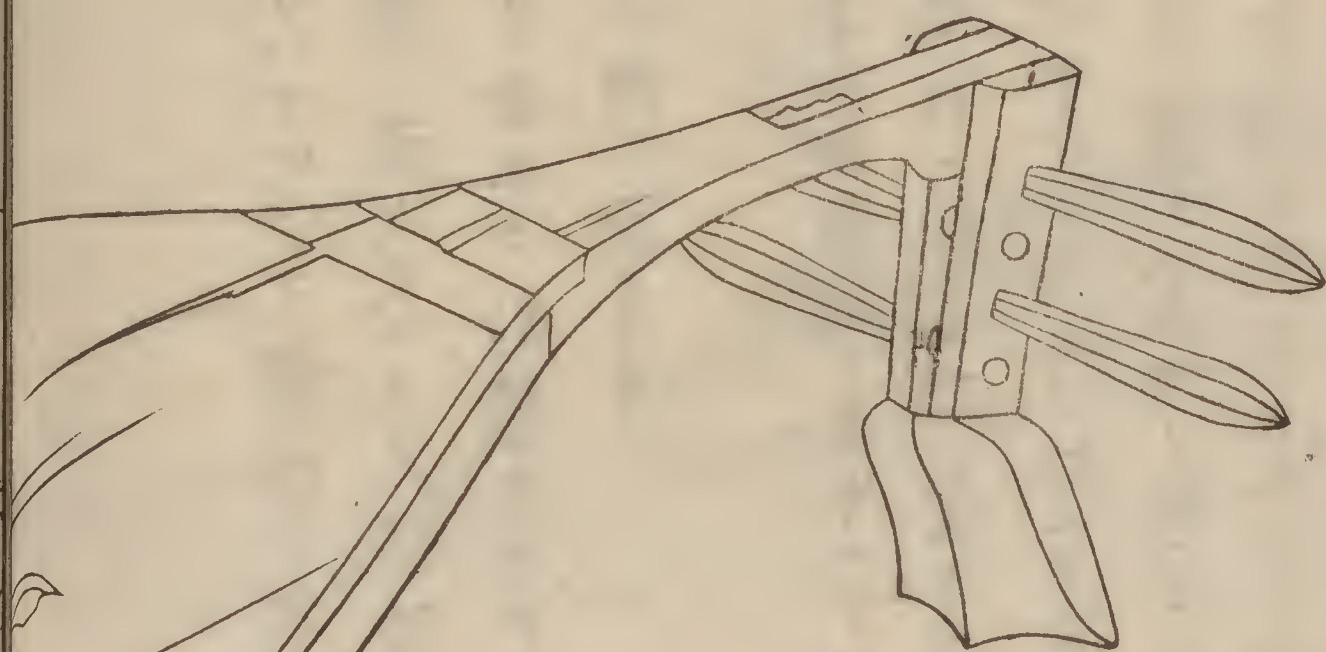
玄上ノ琵琶

谷川ノ琵琶トイフハコレナリ當社ノ楽器ソノ數多シトイヘトモ糸竹ノタクヒニテハ小櫻ノ笙オヨビコノ琵琶ノ上ニ出ルモノアルコトナシツネニハ玄上トヨヘリ玄上ヲ引懸テツクレルニヨリテナリソノヨシハ下ニ載スルトコロノ玄上考ニ詳カナリ

惣長サ三尺三寸二分華櫚ノ直甲ニテ縁ノ厚サ壹寸強長サ七寸四分八重幅腹板ノ付クトコロニテ壹寸六分頸ニテ七分五重腹ハ三継合幅壹尺三寸五分ソノ内上ノ板ニテ五寸中ノ板ニテ五寸六分中ノ板ノ棹ニツクトコロ壹寸八分下ノ板ニテ二寸九分長サ二尺五寸二分厚サ縁ニテ三分轉手四寸五分糸倉ノ木外法長四寸五分内法頸ニ付キタル方輻八分強海老尾ノカタ幅三分強海老尾長二寸六分兼絃柱ナドハウセテナシ

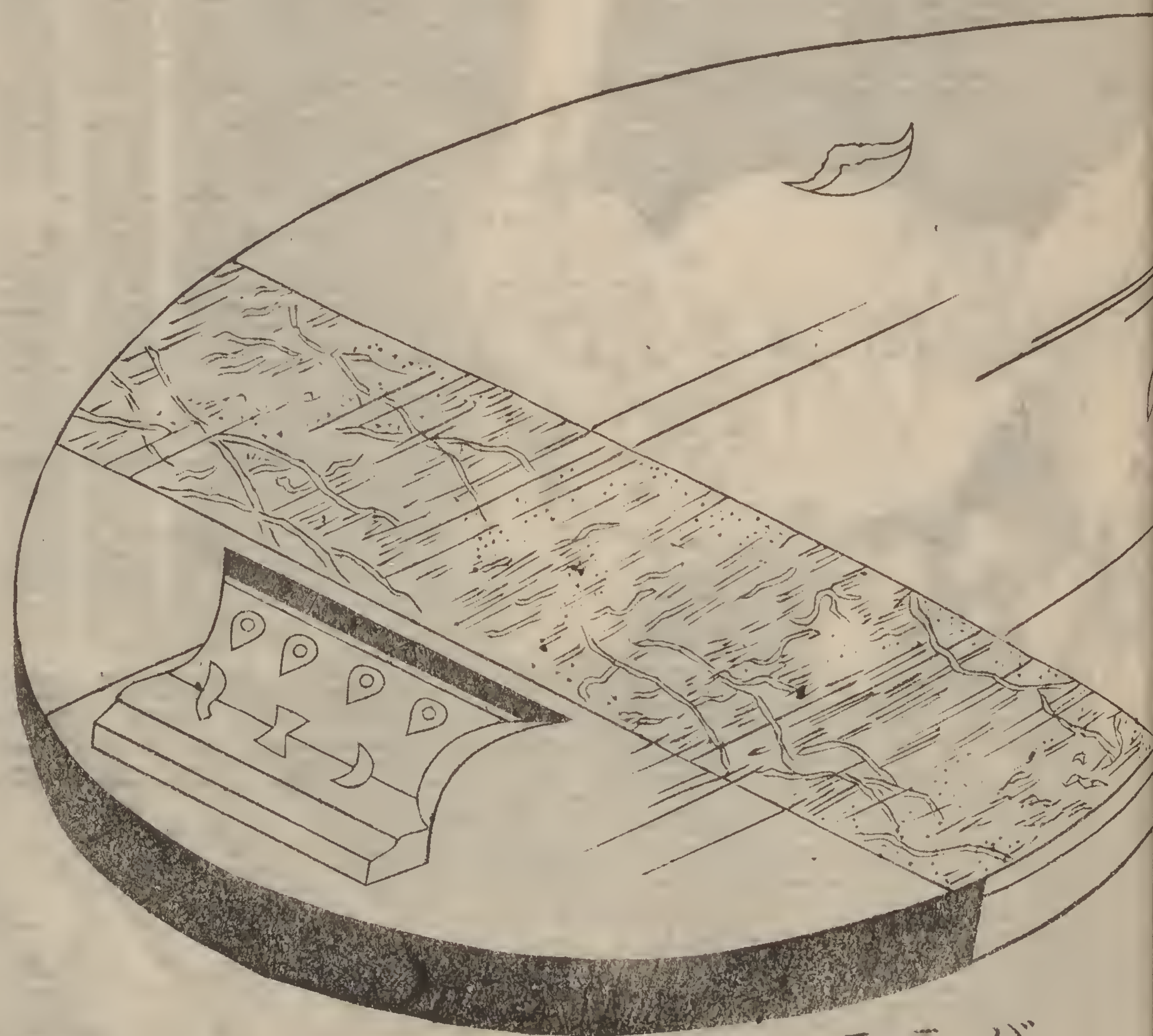


玄上





半月畐ノ如シ



バチ面下ニ畐アリ
ラクタイ二尺七寸
皮上質シレズ

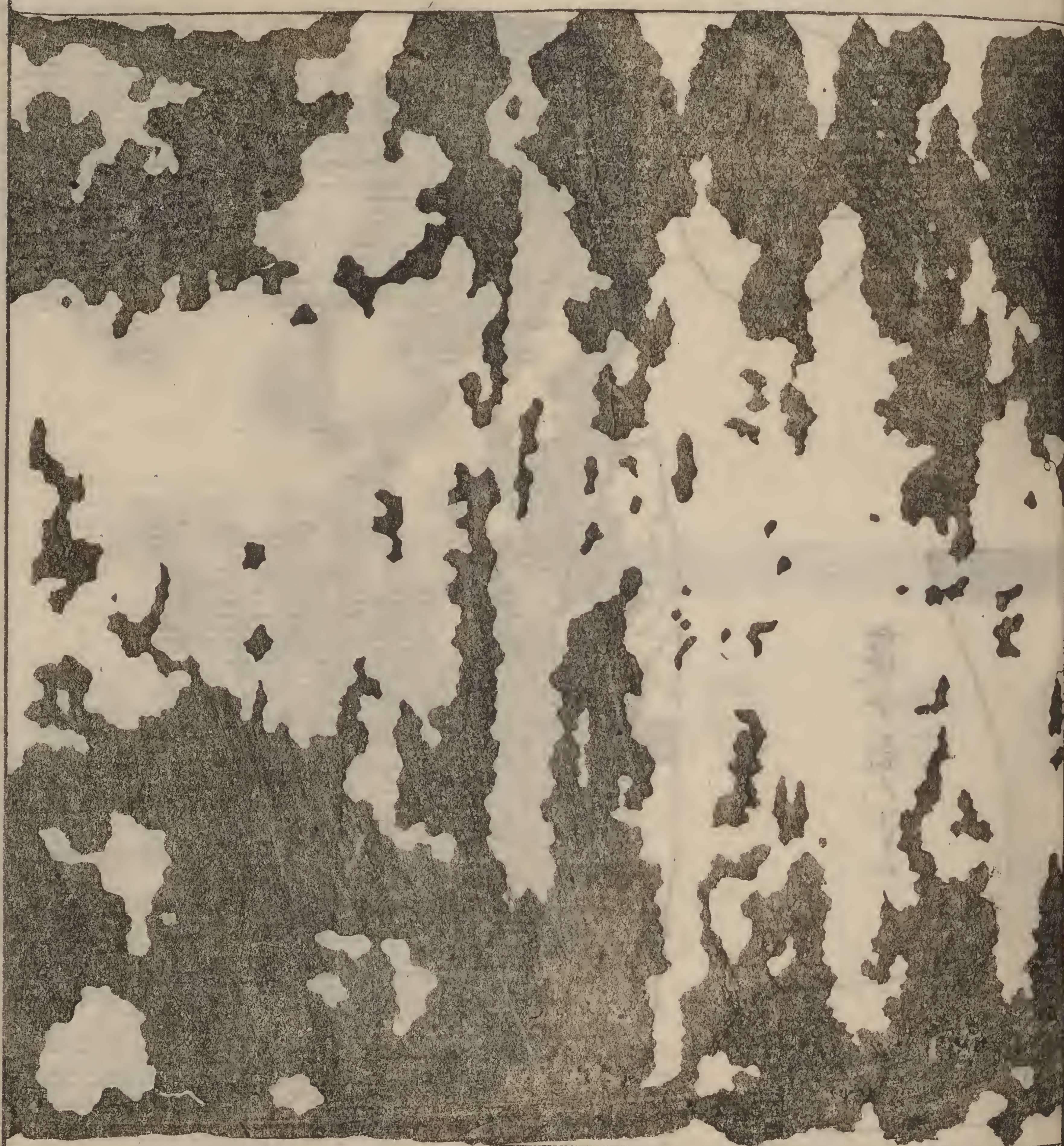


隠月大サ畐ノ如シ

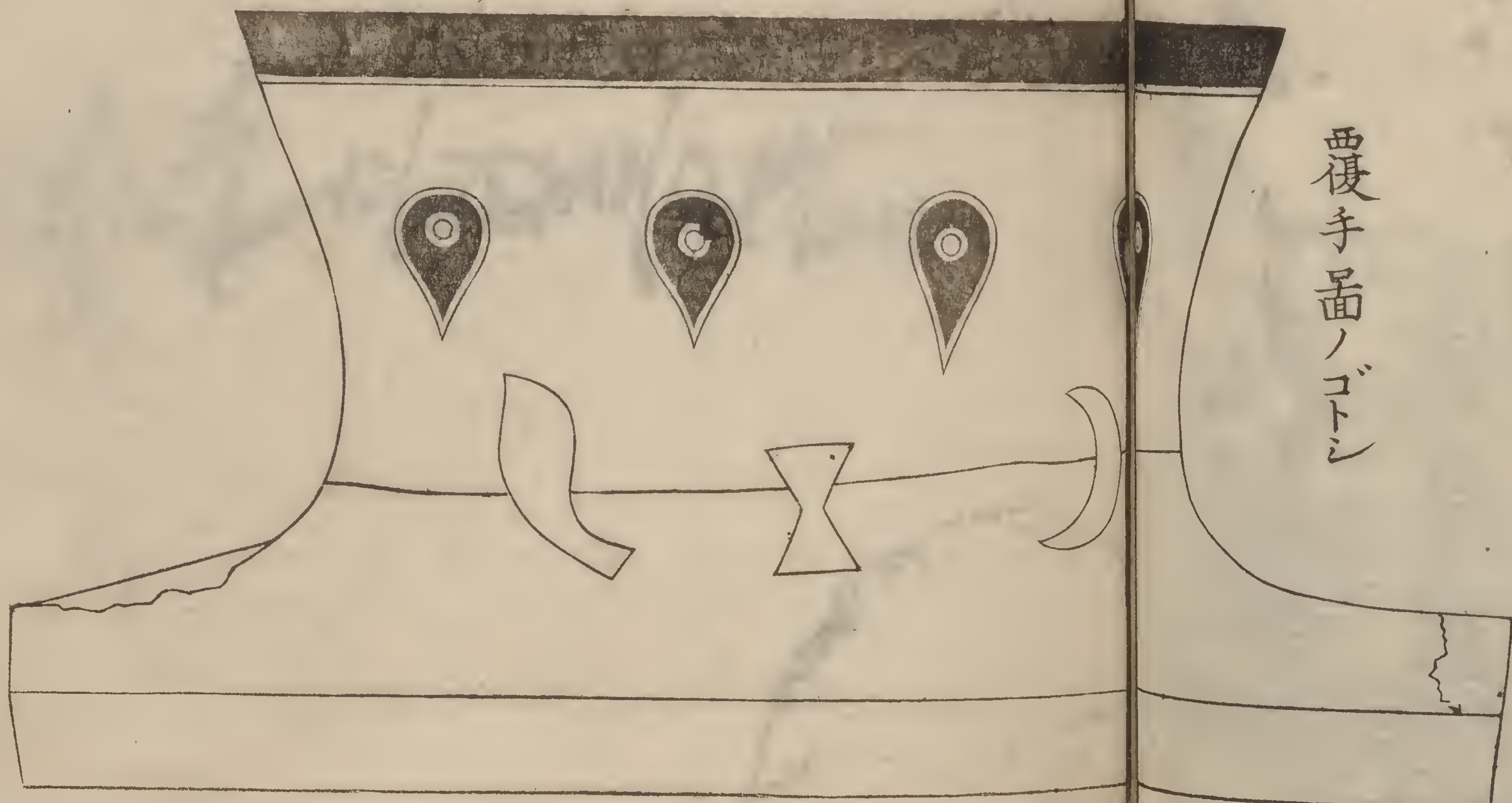
續世継物語なみのうへのはらづきノ巻ニヱ玄上とふびハをひきたまひけれバ大きなる比巴なりけりとぞ見えけるコレハ開白師通公ノ弾タマヘルヿヲイヘルナリ文意ヲカムガフルニ普通ノ比巴ヨリモ大キナルガ如ク聞ユ

撥面畵ノゴトシ画ノユヱヨシ玄上考ニツバラナリ下ニ載タリ

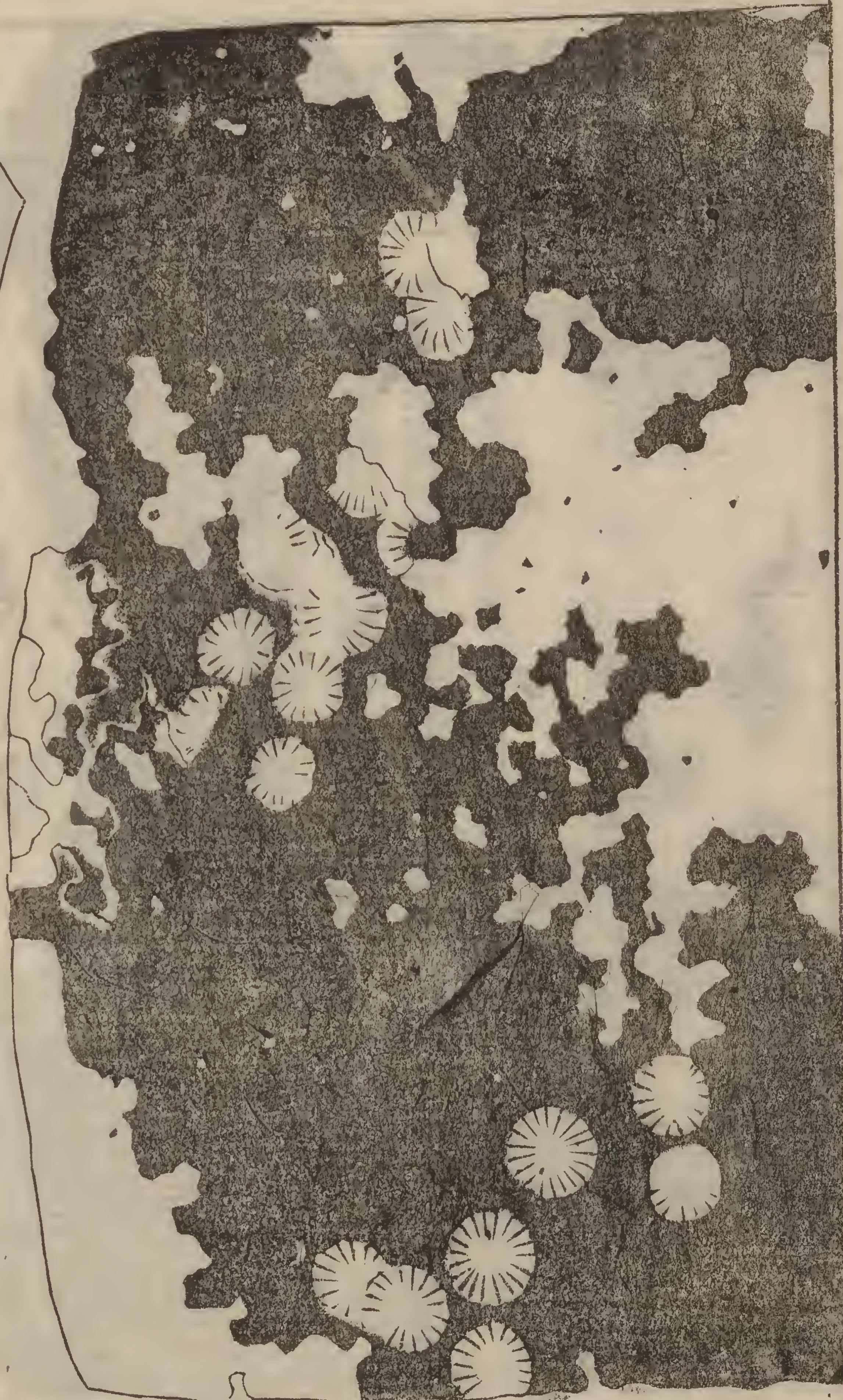




撥ハ樛ノ木ナリ畫ノ如シ體源抄ニ花鳥餘情ヲヒキテばちををさむる穴をば隱月といふふくじゆの下にありトイヘリ上ニ畫セルトコロノ隱月ニハコノ撥入ルベカラズ恐クハ後世故實ニウトキ人ノ作リソヘタルナルベシ



覆手畫ノゴトシ



南無妙音菩薩

南無觀世音菩薩

慶長貳年壬戌十月十一日

以意上方懸作之

雅念作（花押）

腰板ノウラ書

畠ノゴトシ

玄上考

田中芳樹

玄上ノ琵琶ハ。順徳院天皇ノ禁秘御抄ニ。（因ニイフ。禁秘御抄ノ名ハ。オソラクハ後人ノツケタルモノナラム。河海抄ニコノ書ヲ引テ。建暦御記トイヘリ。建暦ハコノ天皇即位ノ年号ナレバ。建暦天皇ノ御記トイフヨシニテ。コレゾ正シカルベキ。但賢所ノ篇ニ。去々年内大臣穢トアル。内大臣ハ。坊門信清公ニテ。建保四年ニ薨シタマヘリ。コレヲ穢トノタマヘルナリ。サテソノ薨ノ年ヲ。去々年トカヽセタマヘルヲ以テミレバ。コノ御抄ノ成レルハ。建保六年ノコトナルベシ。然レドモイマハ普通ノ名ニ随ヘリ。）累代寶物也。置中殿御厨子。根源様人不知之。掃部頭貞敏。渡唐之時。所渡琵琶二面。其一歟。紫檀直甲也。大宋人云。紫檀者大様不可過六七寸。直甲之條不信云々。但此甲非只物。紫檀也。凡此琵琶。云躰云聲不可説。未曽有物也。為霊物。人為跡之時。有貴人。如何ハ跡ニスルゾト云テ。入人夢。皆着直衣人也。霊物之中。越他。以不浄手不可取。昔ハ无覆。自近比有沙汰。有覆并臺

此琵琶ノ霊験。内裡焼亡之時。飛出。撥面ノ文消。所々有赤色。不知其繪。代々有沙汰未決。俊房云。良道琵琶。移玄上。彼撥面文不可違。彼唐人打毬形也。或云。玄象呑青鉢之水。所謂号玄象。又玄上宰相。献延喜帝。仍号玄上。両説也。但妙音院入道付玄上説歟トアリ。（俊房云良道琵琶ノ七字。普通ノ本。俊房公良通云琵琶ノ八字ニツクレリ。誤ナルヘシ。ヨリテ異本ヲ以テ攺メツ。）古ヘヨリ。既ニカクノ如ク名義フタツニ別レ。是非明ラカナラザリシコトノ。不足クチヲシクテ。年比イカニゾヤト。覺束ナク思ヒワタリツレド。サシモ尊トキ朝廷ノ御宝ヲ。匹夫ノ口ニカケテ論ヒケガサンコト。カツハ人ノ聞耳モオソリナキニアラジト。ノドメ置ツルニ。此度嚴島神社ノ宝庫ナル。谷川トイフ琵琶ノ腹板ノ裏書。上ニ畾シタルゴトク。弘長二年壬戌十月十一日以玄上引懸作之唯念トアル（フルキ琵琶ノ槻ヲウツシテ作ルヲ引懸トイフナリ。）ヲ見テ。イトウレ

シキコト。玄上ノ名義モ。イマゾ掲焉ニ知ラルベキト。ソノ撥面ノ繪ヲ。熟オモフニ。唐人打毬ト。御抄ニアルニヨクカナヘリ然レバ玄象呑青鉢之水所謂号玄象トアルカタハ。誤ナルコト決ナシ。御抄ヲカヽセタマヒシハ。建保六年ノコトナリ。上件ノ細書ニイヘリ。ソノカミスラ。撥面ノ文消。所々有赤色不知其繪。代々有沙汰未決トアナルモノヲ。四十年餘モ後。弘長二年ニツクリシコノ琵琶ノ撥面ニ。イカヾハモトノマヽヲ摸スコトヲ淂ン。コハタダ寸法バカリヲ引懸タルナルベケレバ。繪ハ沙汰ノ限リニアラジト。思ハン人モアメレド。引懸トイヒナガラ。撥面ヲ異モノニシテヤハオクベキ。按フニコノ琵琶ハ。マダ玄上ノ撥面ノ鮮ヤカナリシホドニ。人ノ引懸オキタルガアリシヲ。唯念フタヽビソノウツシノ玄上ニヨリテ。マタ引懸ツクレリシナルベシ。

中殿ノ御厨子ナルヲ。スグニ取出テ本トシタルニテハアルベカラズ。コレニ依テ。カヘリテ。コノ琵琶ニ繪ノ残リ傳ハレルニコソ。カクテオモヘバ。玄上トイフ名ハ。一説ノ。玄上ノ宰相献延喜帝。仍号玄上ト御抄ニカヽセタマヘルゾ正シカリケル。打毬ノコトニ。玄上トモ玄象トモイフベキヨシハ更ニナシ。妙音院入道ノ玄上宰相ノ名ニヨレル説ヲ用ヒタマヘルハ。據アリシナルベシ。但玄象ノ説モ。續教訓抄。糸竹口傳ナドニモミエテ。一向ニ捨ベキニアラネド。オソラクハ。玄上ヲ字音ノ通フマヽニ假リテ玄象トモカケルヲ。撥面ノ繪消テ後。牽強テ玄象呑青鉢之水ナドイフコトハイヒ出タルナルヘシ。江談抄ニハ。スナハチ玄上玄象ヲカヨハシ用ヒタリ。玄上宰相ハ。八代集抄ニ。中納言諸葛男トミエ。禁秘御抄聞書ニハ。兼平三年正月廿一日薨。于時参議従三位七十八歳トミエタリ。兼輔集ニ玄上の宰相の右近中将にて。紅梅を折りておこせたりける。伊勢集ニ。はるかみの宰相の北のかた。月比ふかき夜。かどのまへをとほりたまふとて。せうそこあるのゝい

ひいきたまつりあれど。トアル。はるかみスナハチ玄上ナリ。拾遺集ニ。参議玄上ガ女の。月のあかき夜かどのまへわたるとて。せうそこいひいれて侍りけれど。ト端書シテ。伊勢集ナルトオナジ哥ヲ載タルニテ知ベシ。マタ大鏡ニ。玄上宰相のむすめのや。その後朝のつかひを。敦忠中納言の少将にてしたまひける。トモアリ。コレラニ依ルニ。兼輔伊勢ナドハ時ヲ同ジクシテ。齢ノ長カリシ人ナレバ。清和陽成光孝宇多醍醐朱雀ノ六代ヲヅヘタマヒケム。上件ニアゲタル。聞書ニテシルベシ。禁秘御抄コノ人優タル琵琶ノ上手ニテ。ツネニモテナラシタマヒシ琵琶ヲ。延喜ノ天皇ニ献ジタマヒタルヲ。御抄ニカヽセタマヘル如ク。本ノ主ノ名ニヨリテ。ヤガテ玄上トハオフセタマヘルナラン。はるかみトナヅケズシテ。げんじやうトナヅケシハ。下ニヒケル良道ノ琵琶ヲ。よしみちトイハズシテ。りやうだうトよムガ如シ。古事談ニ。玄上ノコト。江中納言ニ人ノ問ケレバ。不知檍説延喜ノコロ。玄上宰相トイヒケル琵琶ヒキノ琵琶トヤラムトゾ。被答ケル。江談抄ニ。予問玄上牧馬。元者何時琵琶哉。答云。玄象牧馬者。延喜聖主御琵琶上手玄上トムモノアリキ。予又問云。然者。依件名令付歟。延喜聖主御琵琶上手玄上ノ間ニ。カナラス脱字アラム。異本ヲ得テ按スベシ。マタ糸竹口傳ノ或説ニ。玄上宰相琵琶也。主ノ名ヲヒハニツケタリ。河海抄ニモ。嵯峨天皇箏。玄上宰相比巴。大石富門笛。トアル。ミナ證トスルニ足レリ。人ノ名ヲ以テ琵琶ノ名ニセシコト。コレノミナラズ。琵琶合ニ。良道賢圓トイフ二ツヲ載セテ良道ハこゑいろうつくしく。いかめしき所もあり。音勢ハちいさけれども。りやうめか聲など殊勝なり。右大臣是公孫藤原良道琵琶なり。仍号良道よしみちトハイフベカラザルコト。大記ノ康和二年七月廿一日ノ件ニ。比巴字良道声読トミエ。琵琶合ノ或説ニ。著禰襠者ヲ畐掻面依之称禰襠トミエタリ。コレ玄象呑吉鉢之水ニヨリテ。玄象ト名ヅケシトイフニオナジキ。牽強ノ説ナ

ガラ。裲襠良道ト字音ヲ通ハシ用ヒタルニテ。賢圓ハ琵琶血脈
りやうだうトヨムベキ證ニハ足レリ。
ニ。嵯峨供奉トアレバ。僧ノ名ナリ。玄上モコレニ准ヘテ人ノ名
ナルヲ知ベシ。或人問テ云ク。シカラバ玄上ハ。はるかゝノ宰相
ノ始メテ作リ出タマヘルビハナルカ。予答テ云。然ラズ。ソノハジ
メハ唐ノモノナリ。三代實録ニ。貞觀九年十月四日ノ件ニ。從五
位上掃部頭藤原朝臣貞敏卒。承和五年到大唐達上都逢能彈琵
琶者劉二郎云々。劉二郎臨別設祖餞賜紫檀紫藤琵琶各一。是歳
大唐大中元年。本朝承和六年也。トアル。紫檀ハコノ玄上ナリ。胡琴
教録ノ師説ニ。玄上ハ紫檀乃飛多甲。腹ハ塩地ヲ二継合。孝道云。
五枚継ナリ。糸竹口傳一ヒ。紫檀ノ混甲トアリ。ト一ヒケリ。
續日本後紀ニ。承和六年冬十月朔。令遣唐使准判官正六位上藤
原貞敏彈琵琶トアルハ。コノ劉二郎ガ賜シタル琵琶ヲ取カヘ
リテ。彈ケリシニゾアラム。糸竹口傳ニ。玄象ハ深草ノ帝ノ御時。

掃部頭貞敏。モロコシヘワタリテ。琵琶ヲナラヒケルトキ。師ノ
手ヨリ傳ヘタリ。延喜帝ノ御物ナリ。紫檀ノ混甲ナリ。續教訓抄ニ。
古記ニ云ク。玄象ハ。唐ノ琵琶ノ師。劉二郎ガ琵琶ナリ。深草帝ノ御時。
掃部頭貞敏ガ。唐ヘワタリテ。琵琶ナラヒケルトキ。得タルビハ
ナリ。東齋隨筆ニ。村上聖主。明月の夜。清涼殿の晝の御座にして。
玄上に水牛の角の撥にて。弾じましまして。たゞ一所御座けるに。か
げの如くなるもの。空より飛で参たり。孫庇にぞよりけれど。うち
には何者ぞと問しめたまふ所に。申て云く。唐の琵琶の博士廉兼
武にて候。唯今空をまかり通るとて候つるに。御琵琶のばち音の。い
みじさに。参入するところなり。おそらくは。むかし貞敏に授残
したる曲の候を授たてまつらんと申を。聖主叡感のあまりに
て。御琵琶をさしやらしめたまひたりければ。ひきならして。

これハ廉承武が琵琶なり。貞敏に二ツ賜ハりてけると申けり。終夜御物語ありて。上玄石上の曲などを授奉けり。平家物語ニモ此事アリ。ナドアルヲ以テオモフニ。貞敏ノ唐ヨリ持チ渡リシモノナルヲ。玄上宰相ノコノコトニ優レタマヘルヲメデヽ。傳ヘタレド。貞敏ハ承和六年ニ唐ヨリカヘリ。貞観九年ニ卒セリ。玄上ハ。承平三年ニ七十八歳ニテ薨ジタマヘルコト。上件ニイヘリ。サレバ貞敏ノ老タリシコロハ。玄上ノワカクオハシヽホドナリ。ソノ時マデハ。タヾ本ノマヽニ。紫檀ノ琵琶トノミ云タリケンヲ。三代實録ニ紫檀紫藤琵琶各一トアリテ。別ニ名ヲ挙ラレサルヲ證トスベシ玄上宰相ヨリ延喜ノ天皇ニ奉リタマヒ。ソノ後。玄上ノ名出來リシコト上件ニ論ヘルガ如シ。マタオモフニ。玄上宰相ノ名。琵琶血脈ニモ載セズ。ソノ外ノ書ニモ。コノ人琵琶ノ上手ニオハシケルコトヲミアタラネバ。上件ニヒキシ東齋隨筆ニイヘル。上玄石上ノ四字ニヨリテ。玄上ト名ツケタルニハアラヌニヤトモオモヘド。御抄ニモカヽセタマハヌコトヲ。オノガウガチイハンモ。サシスグイタリト人ヤオモハント。恥カシサニウケバリテモ論ラハズ。ソレヨリコナタ代々ノ朝廷ノ

御寶トシテ神璽鏡劔ノサシ次ニ尊トハレシモノナレ圧。琵琶合ニ。今此至テ玄象者。潜魚之無心。幼兒之不言。可感之。誠是日域無雙霊物。宸居累代ノ名器也。マタ八音抄ニ。古は名物のうち。世の中に殘りたる八つあり。玄上内裡。牧馬。良道。木繪。小琵琶。已上勝光明院宝藏。井手。渭橋。平等院經藏。元興寺。本平等院經藏。ナドヽ。カズ多カル名物。ミナ其所彼所ニヲサマレヽド。玄上ノミハ。朝廷ノ御宝ナリ。百練抄ニ。天元五年十一月十七日。内裏焼亡。天皇御職曹司ニ。或記ニ云。炎上之間。累代ノ御物。多ク紛失。紫檀ノ御脇息玄上等也。十二月六日。玄上從式ノ御曹司ノ東垣ニ。付物ニ拔落畢ヌ。御抄ニ。此琵琶ノ霊驗。内裡焼亡之時。飛出。體源抄ニ。昔ヨリ霊物ニテ。内裏焼亡ノ時モ。人ノ取出サヌサキニ。トビ出テ。大庭ノムクノ木ノ末ニゾカヽリケル。ナドアルモ。天徳焼亡ノ時ノコトヲイヘルナルヘシ。同書ニ。壽永二年七月廿五日。平家ノ黨類。前内大臣巳下。牽テ一族ヲ出奔西海ニ。天皇。建礼門院。同ク奉相具。内侍所ノ神鏡。神璽。宝劔。時ノ簡殿上ノ御倚子。玄上。鈴鹿。皆以相具。八月五日。玄上出來。大夫ノ尉知康。於路頭ニ見付テ即進院ニ。糸竹口傳ニハ。平家西國へ落行トキ。玄上ナラビニ鈴鹿。取具シテ落シトスルニ。女官女嬬心カシコク取カクシテケリ。ウセニケリト御ナゲ

キノトコロニ。平家落テ後。取出シテマヰラス。ユヽシキ高名ニタリト御感アリケリ。トミエテ。百練抄ニタガヘリ。源平盛衰記平家都落ノ件ニハ。大納言時忠卿。庭上ニ立廻ヽ。印鎰。時のふだ。玄上。鈴鹿。大床子。河霧御劔以下。九重の御具足。ひとつを取落にべからずと下知せられけれども。人皆あはてゝ我先にと出立ければ。取落次物も多かりけり。トノミアリ。マタ體源抄ニ。文應元年十一月六日。今夜清暑堂御神楽。中畧 玄象始テ聞之。鬼丸同前。両重宝一時ニ聽聞。増鏡ニ建治三年正月御遊ニ。比巴玄上今出川大納言。同書ニ正應三年朝原某トイフ者禁中ヲサワガセシコトヲイヘル件ニ。女嬬れ玄象鈴鹿とりてふけゝり。同書ニ。應長元年正月ノ御遊ニ。摂政殿琴ヽ。ふし右大将公顕琵琶玄上。トアリ。マタ皇年代私記ニ。花園院正和五年十月廿四日。玄上紛失。ソノ後出シニヤ。太平記延元元年正月。主上都落ノ件ニ。如何シテ見落シケム。玄上牧馬玄ヽ取落サレケルコソアサマシケレ。ナド見エテ。数度ノワザハヒニアヒ。千年ノ後ニツタハリタレバ。撥面ノ繪ハ御抄ニスラ詳カナラズトカヽセタマヘレバ。今更イハズ。腹甲ノ板モ損ジテ。ムカシノカタチハアラズ成タルラム。台記ニ玄上修補ノコアリ。今晴記ゼズ。後ニ引ベシ。ソハトマレカクマレ甚モ恐キ朝廷ノ御宝ナレバ。匹夫ノ輙ク見ルベキコト思ヒモヨラズ。然ルニソノ引懸コノ御社ニカクノコリテ。撥面今ニキエウセズ。名義ヲ考ヘ知ベキタヅキトモナリヌルハ。古ヘ好ムワガ徒ノヨロコビ。何事カコレニ及ベキ。

いつくしまのみやしろにおさまれる玄上ひきうけてつたはりし
谷川といふ琵琶をもて玄上の名のよしおもひいづるまゝに
ゆゑよしどもとりそのめしひきいでゝかきしるしてよめる

谷川のせゞのきゝくしよるの絃とふるしらべてかきあはせける　萩

よゝの佛社に納まれる谷川のほとりにて
深てつわりし古上考なとして

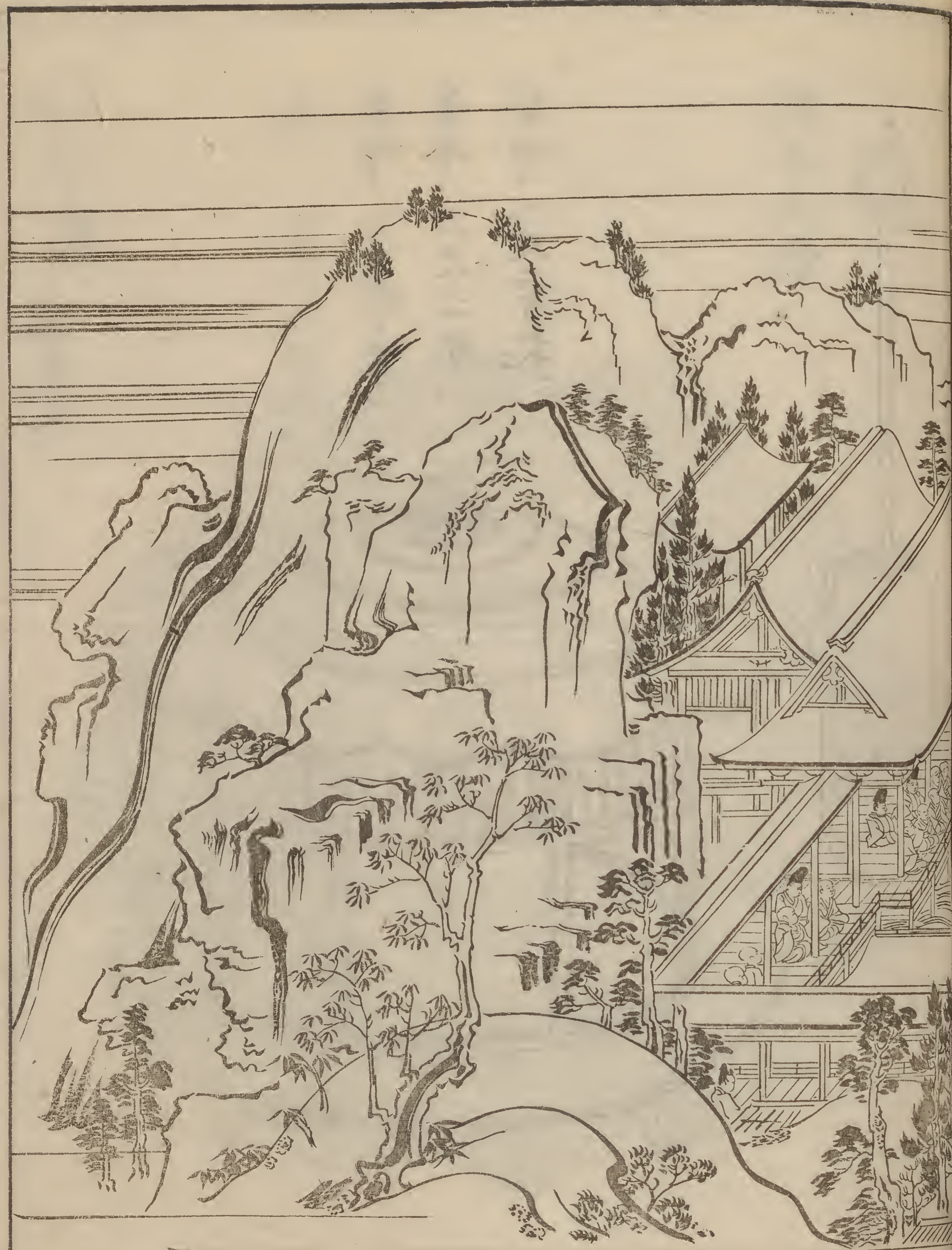
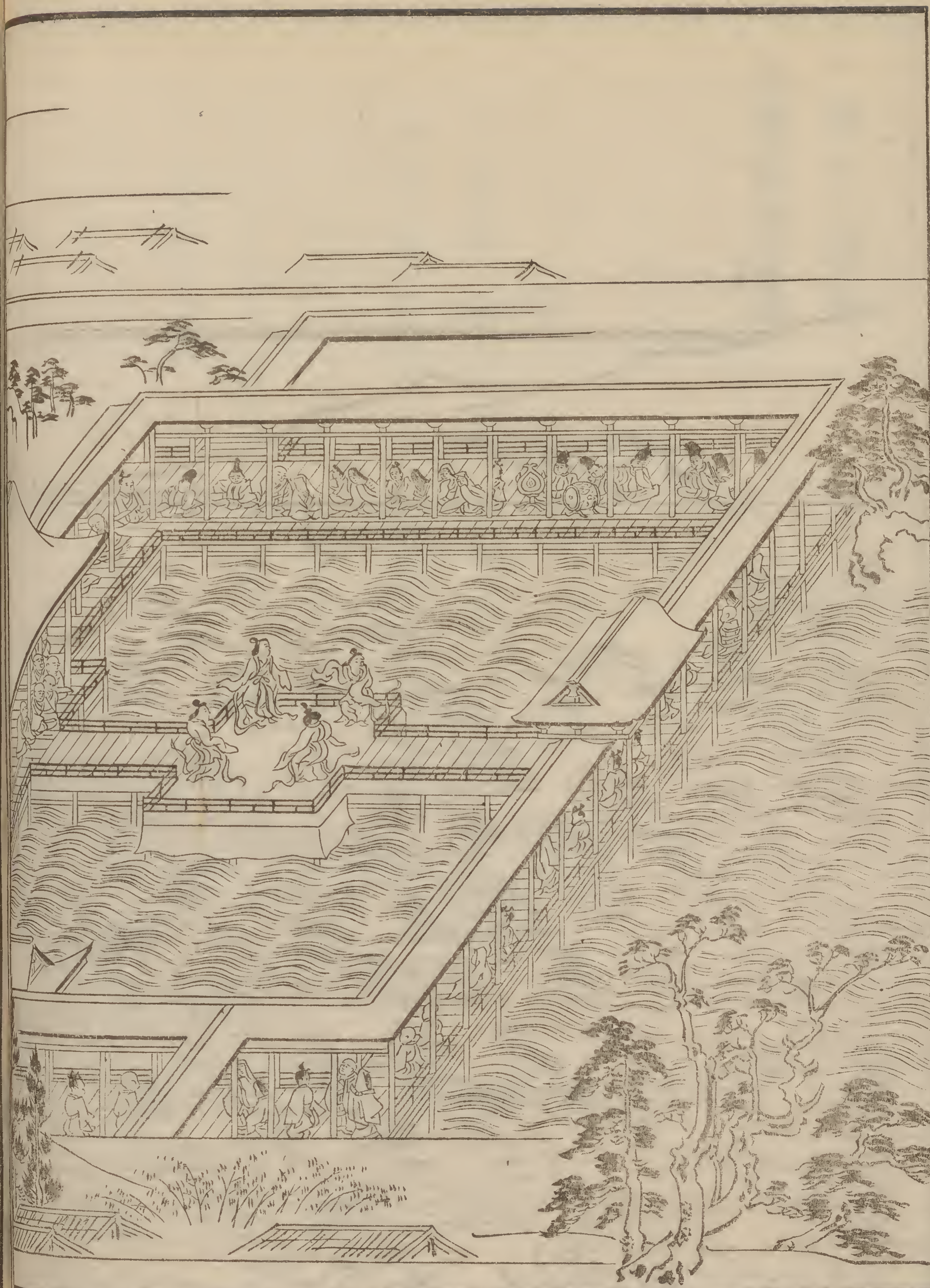
棚守元貞

なつみきのむかへなるしらくこまものみかまつ
しおるゆきのうては
うち保毋世に沙ろもおに谷川のまもるり
とまる名こそくちせね

一遍上人画巻物所載嚴島古圖
古制回廊釣燈籠
小松内府重盛古硯
以上三品ハ社司棚守氏ニ傳来スル所ニシテ神庫ニヲサムルモノ
ニアラズトイヘ共今爰ニ附シテ好事家ノ翫具ニ備フ中ニモ
画巻物ニ載スル所ハ即今ノ結構トハ殿廊漸異ナル所アリ
テ當時ノ趣ヲ見ルニ足レリ

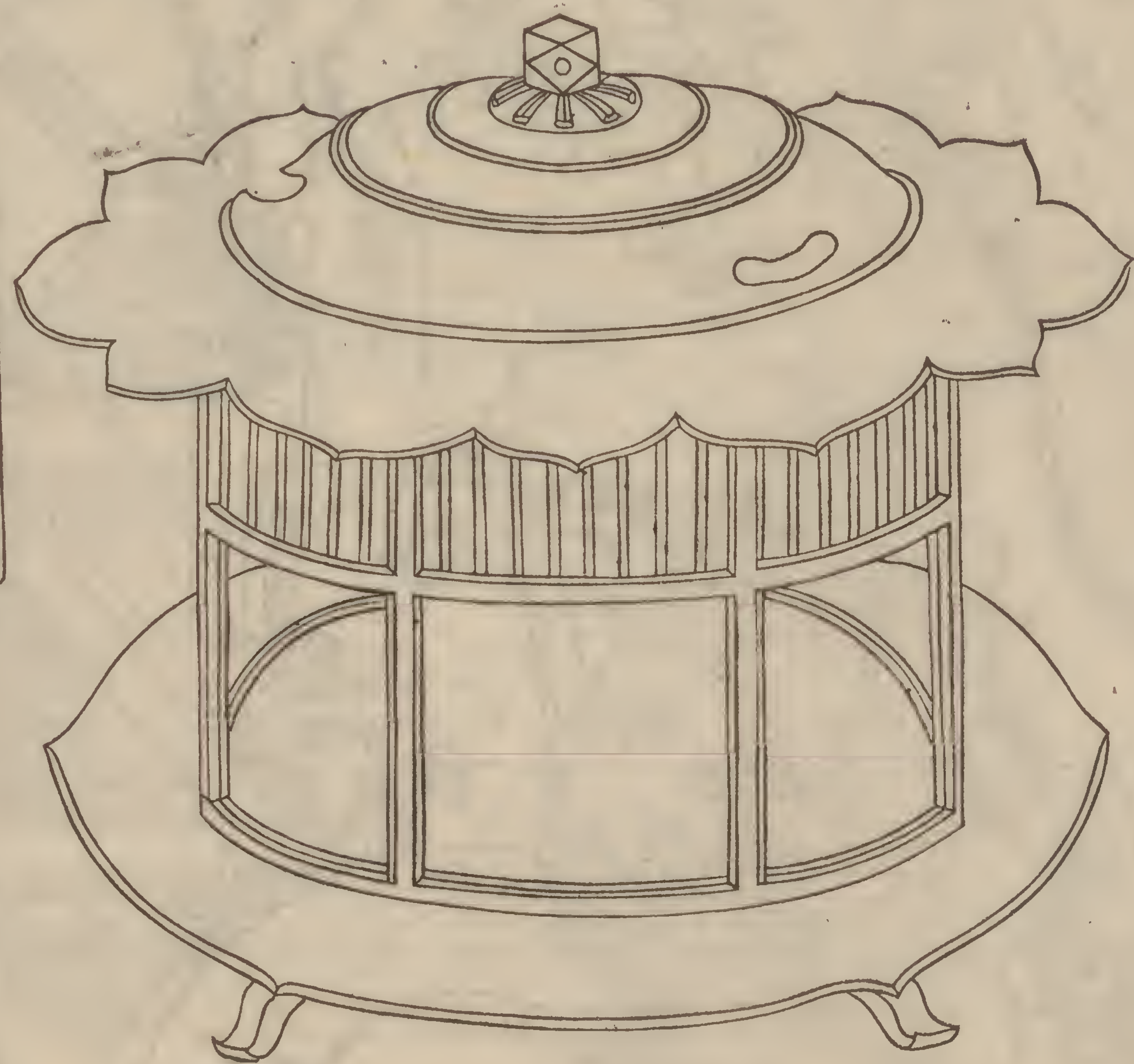
一遍上人画巻
所載當島古圖

秦隆恒縮圖

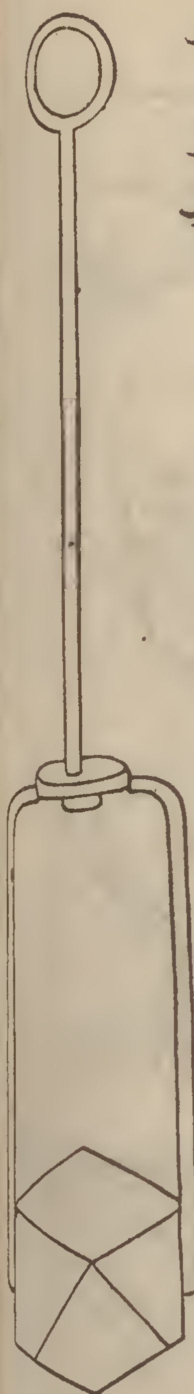



釣燈籠　鉄鋳物

高　九寸八分
笠廻り　三尺二寸五分
臺廻り　三尺二寸
袋廻り　二尺二寸五分



釣手正圖



笠銘



小松内府古硯



紫石
大如圖
厚八分
背無銘



嚴島寶物圖會卷之六終

U. S. NATIONAL
MUSEUM
S. G. A.
No. 3640. 10 vols.
in case.

